

「令和6年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
完成版



令和7年7月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに	1
2. 「令和6年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要	2
2.1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間	2
2.2 伊勢湾流域圏一斉モニタリングの種類	3
2.3 伊勢湾流域圏一斉モニタリング参加者	3
2.4 水質調査地点	5
3. 代表的な伊勢湾流域圏一斉モニタリングの実施状況	7
3.1 学校の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング	8
3.2 団体・NPO 法人・個人の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング	10
3.3 企業の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング	40
3.4 行政機関の伊勢湾流域圏一斉モニタリング	45
4. 伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査結果	49
4.1 分析による水質調査	49
4.2 簡易水質テスト結果	58
4.3 アンケート結果の経年変化	66
5. 参考資料1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間気象・海象状況	79
6. 参考資料2 定点的なモニタリングの結果	84

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取組を継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に伊勢湾流域圏一斉モニタリングを行いました。伊勢湾流域圏一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様にも、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。

今回は確定版として分析による水質調査、簡易水質テストによる調査、ごみ調査、水生生物調査の結果についてとりまとめました。



図 1.1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。

(上の図の水色および緑色で示した部分)

- ・伊勢湾再生推進会議構成団体：国土交通省中部地方整備局・海上保安庁第四管区海上保安本部・内閣府地方創生推進事務局・農林水産省東海農政局・林野庁中部森林管理局・水産庁漁港漁場整備部・経済産業省中部経済産業局・環境省中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「令和6年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

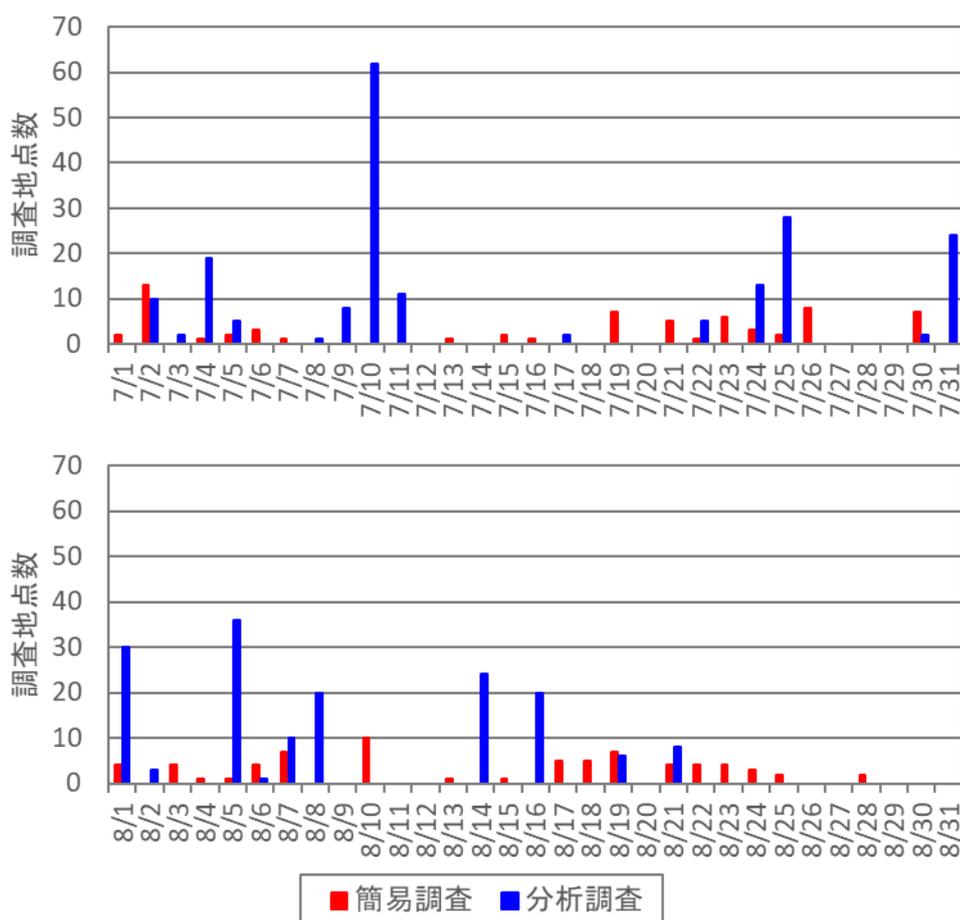
2.1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間

2024 (R6) 年度は、下記のスケジュールにて伊勢湾流域圏一斉モニタリングを実施しました。

<2024 (R6) 年度のスケジュール>

2024 (R6) 年									2025 (R7) 年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			←————→								

伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間：2024 (R6) 年7月1日 (月)～8月31日 (土)
 ※2024 (R6) 年度は統一実施日なし



※1 団体で複数地点調査している場合もある。

図 2.1 2024(R6)年度における伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間内の調査地点数の推移

2.2 伊勢湾流域圏一斉モニタリングの種類

伊勢湾流域圏一斉モニタリングでは、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ごみ調査」、「生物調査」、主に自治体が参加した「分析による水質調査」を実施しました。

2.3 伊勢湾流域圏一斉モニタリング参加者

2024 (R6) 年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 2-1 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト・ごみ調査・生物調査	
		団体数	参加人数
2024 (R6) 年度	24	41	559
2023 (R5) 年度	21	43	653
2022 (R4) 年度	25	38	567
2021 (R3) 年度	27	39	462
2020 (R2) 年度	27	44	666
2019 (R1) 年度	21	43	806
2018 (H30) 年度	22	39	612
2017 (H29) 年度	25	48	945
2016 (H28) 年度	17	51	970
2015 (H27) 年度	31	71	(集計値なし)
2014 (H26) 年度	15	76	675
2013 (H25) 年度	29	83	(集計値なし)
2012 (H24) 年度	46	59	(集計値なし)
2011 (H23) 年度	42	49	(集計値なし)
2010 (H22) 年度	51	67	(集計値なし)
2009 (H21) 年度	35	60	(集計値なし)

※参加人数は記載のあったものだけカウント

◆ 簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査（五十音順）

【行政機関】

伊勢湾再生海域検討会事務局（中部地方整備局港湾空港部）、岐阜県岐南町、岐阜県白川町役場、第四管区海上保安本部

【市民団体・NPO 法人】

CAEA 渥美半島環境活動協議会（亀の子隊）、伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局、内部ホテルの里を育てる会、NPO 法人伊勢湾フォーラム、NPO 法人木曾三川ごみの会、扇川を愛する緑の会、大垣市生活学校、小里川ダム里山教室、尾張西部生態系 N/W T・海部野川、金山町生活学校、可児市（めだかの楽校）、亀山の自然環境を愛する会、川ナビ歩こう会、ClearWaterProject、国連支援交流協会名古屋事務局、鯨城・堀川と生活を考える会、白鳥庭園、スティッチ、高松干潟を守ろう会、土岐川・庄内川流域ネットワーク、引山学区保健環境委員会、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、みどりのまちづくりグループ、矢田・庄内川をきれいにする会、養老町女性会議、養老町生活と環境を考える会、レッ津！夢みなとプラン推進協議会、渡し場かもめ会、個人参加2団体

【企業】

神野建設株式会社、東芝プラントシステム株式会社、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会、東洋建設株式会社、株式会社東海環境調査

【学校】

光陵中学校（三重県桑名市）、八風中学校（三重県菰野町）

2.4 水質調査地点

令和6年度の伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査地点数は、分析による水質調査は350地点、簡易水質テストは147地点でした。

表 2-2 伊勢湾流域圏一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質テスト		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
2024 (R6) 年度	267	83	350	103	44	147
2023 (R5) 年度	199	75	274	108	44	152
2022 (R4) 年度	220	69	289	132	35	167
2021 (R3) 年度	236	80	316	103	35	138
2020 (R2) 年度	231	72	303	147	31	178
2019 (R1) 年度	212	51	263	133	38	171
2018 (H30) 年度	266	61	327	109	22	131
2017 (H29) 年度	285	40	325	128	32	160
2016 (H28) 年度	215	164	379	160	31	191
2015 (H27) 年度	422	77	499	225	27	252
2014 (H26) 年度	259	80	339	132	32	164
2013 (H25) 年度	328	125	453	159	33	192
2012 (H24) 年度	450	223	673	357	32	389
2011 (H23) 年度	483	109	592	119	34	153
2010 (H22) 年度	569	234	803	189	39	228
2009 (H21) 年度	264	69	333	78	28	106

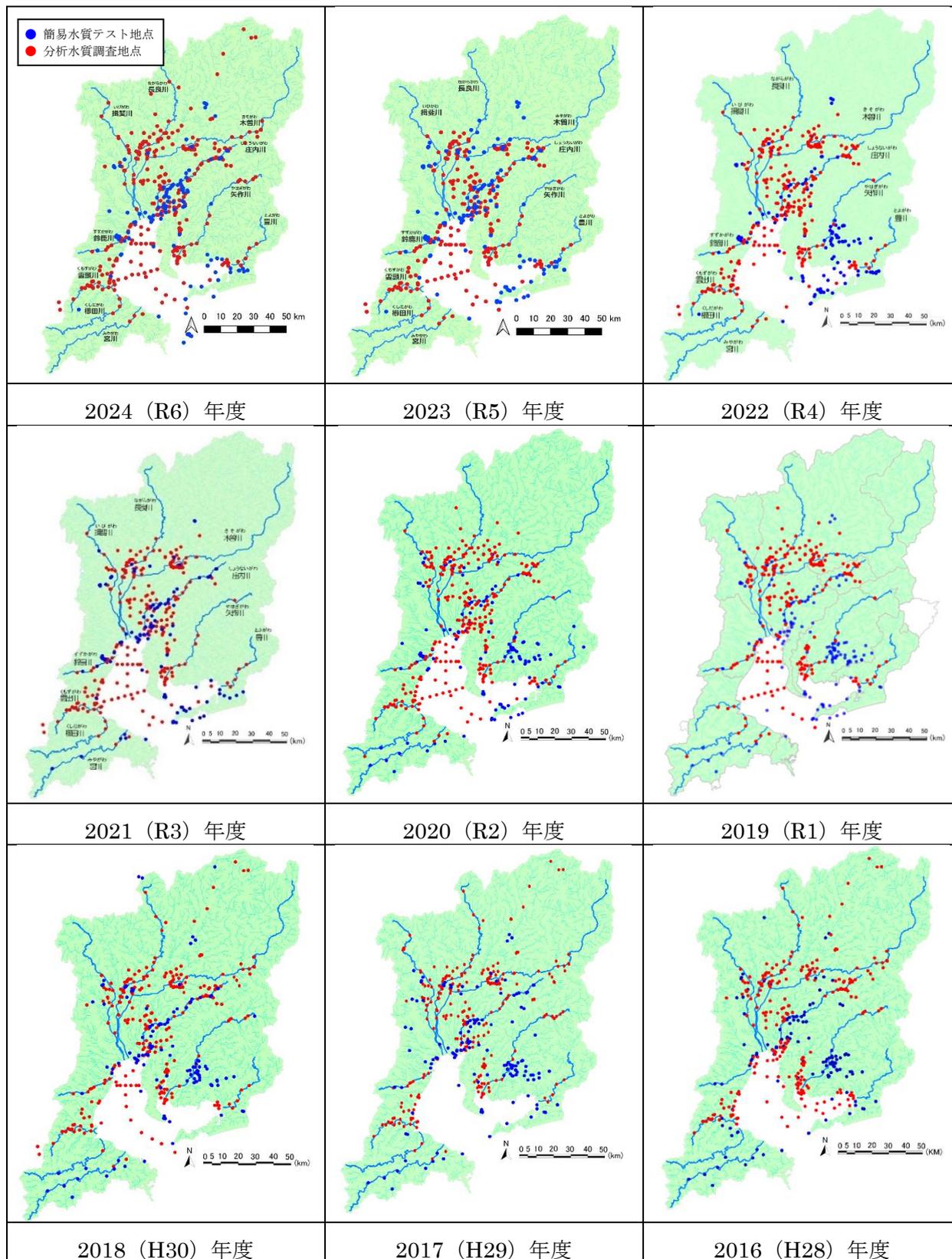


図 2.2 2016(H28)年度～2024(R6)年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング地点
 ※海域では同じ地点で水深を変えて測っている箇所があるが、同一地点として整理。

3. 代表的な伊勢湾流域圏一斉モニタリングの実施状況

参加団体の皆さんから伊勢湾流域圏一斉モニタリング結果とともに、沢山の実施状況の写真、感想やご意見等を頂きました。ここでは、参加団体の皆さんから頂きました写真等を紹介させていただきます。頂いたご意見等は、今後の伊勢湾流域圏一斉モニタリングの改善にも役立てたいと思います。

なお、コメントや実施の様子がわかる写真がない場合については、実施概要及び実施位置のみ整理しました。

3.1 学校の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング

<p>団体名：桑名市立光陵中学校 自然科学部</p>	<p>調査位置図</p>
<p>実施日：2024 (R6) 年 7 月 23 日 主な観測地点：員弁川 参加人数：20 人</p>	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体から挙げた声としては「暑かった」という意見が多かったように思われる。そんな暑い中での調査となったが、部員からは「楽しかった」という声が多数出た。さらに魚も捕まえることができたということもあり、今回の調査はとても有意義なものになったと感じる。一部の部員からは「外来種がいなかった」という意見も挙げた。水質については遠くから見ると若干濁っていたように感じたが、近くに行くと浅いところはしっかり底が見えたので、水質はあまり悪くないといえるが、水質調査キットを使用して調査すると汚れが確認されたので、良いとも言えないという結果になった。流れの速さも中心に向かうほど速くなっていったので危険も感じた。 今回の水質調査では、川の水質はあまり良くなく、流れもはやいと感じたが、魚を捕獲することができたので、価値のある調査になったと思う。 	

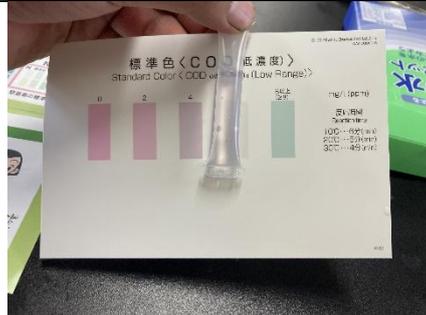
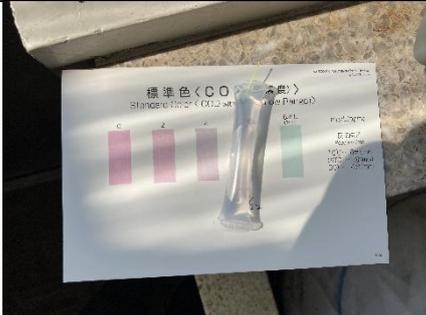
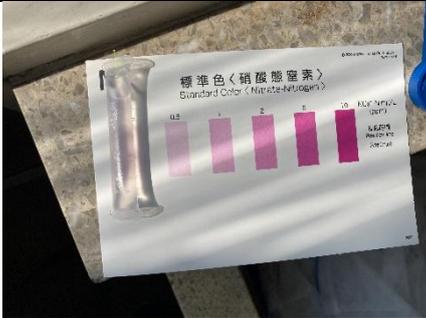
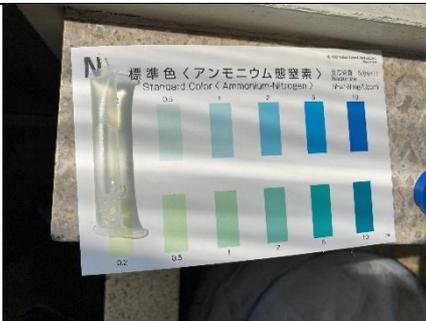
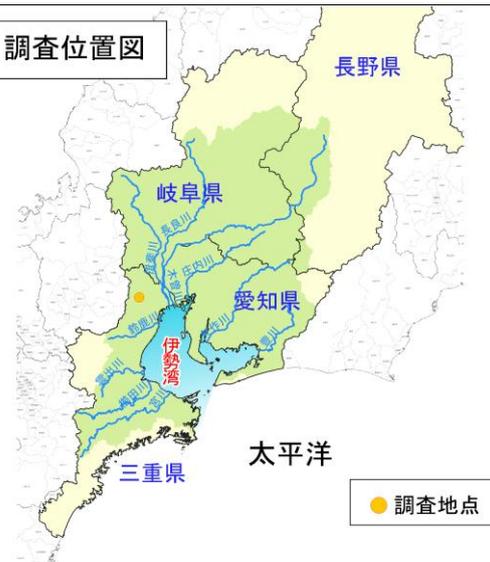
団体名：菰野町立八風中学校

実施日：2024 (R6) 年 8 月 22 日

主な観測地点：田光川

参加人数：9 人

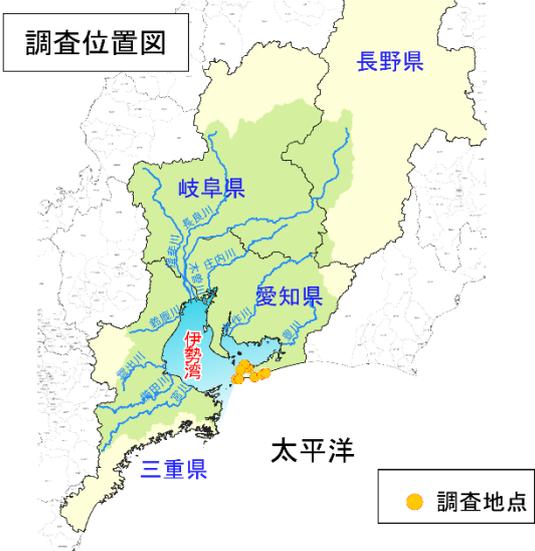
調査位置図



【感想やご意見等】

- 田光川はあまりきれいでないイメージがあったが、とても透明でびっくりしました。ですが、透明な割には魚の種類が少なかったです。水質調査では薬品の色があまり変わらなくて少し焦りました。午前9時の時点でとても暑くて夏を感じました。
- ゴミが落ちてないのは近隣住民の優しさを感じました。今回の水質調査でたくさんの生物を観察できてよかったし、身近にきれいな川があることも知れて、とてもためになりました。

3.2 団体・NPO 法人・個人の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング

<p>団体名：渥美半島環境活動協議会</p>	<p>調査位置図</p>  <p>● 調査地点</p>
<p>実施日：2024 (R6) 年 8 月 10 日</p> <p>主な観測地点：田原市向山港、小中山港、 立馬崎、三河湾、西の浜、 伊良湖港、日出海岸、土田海岸、 若見海岸等</p>	
<p>参加人数：4 人</p>	

団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局

実施日：2024 (R6) 年 8 月 23 日、24 日、28 日

主な観測地点：土岐川、万尺川、鈴鹿川

参加人数：2～3 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 昨年に引き続き、調査に参加しました。
- ・ 昨年まで行っていたところが、草が伸び川に近づくことが出来ず、対岸で行いました。
- ・ モニタリングの調査に参加することにより、川への関心を持つきっかけができると思います。
- ・ 多くの方が参加できると良いと思います。

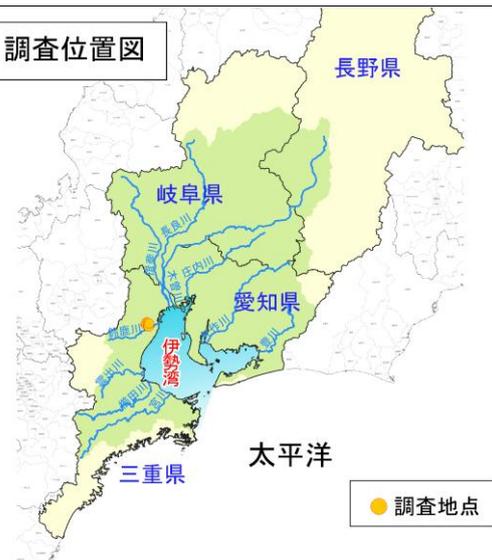
団体名：内部ホタルの里を育てる会

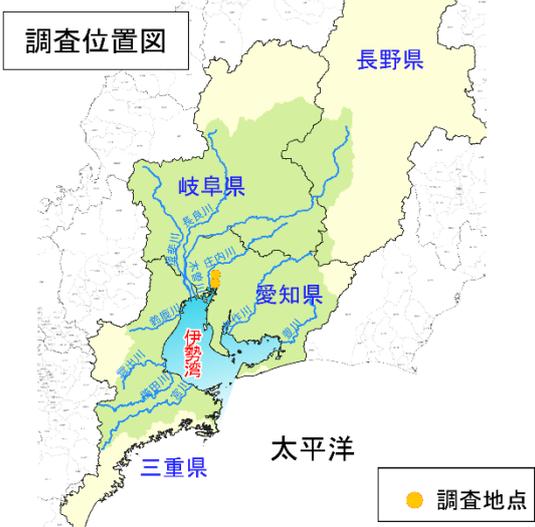
実施日：2024（R6）年-月-日

主な観測地点：三重県四日市市

参加人数：-人

調査位置図



<p>団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム</p> <p>実施日：2024（R6）年8月7日</p> <p>主な観測地点：中川運河いろは橋付近、 中川運河小栗橋付近</p> <p>参加人数：5人</p>	<p>調査位置図</p> 
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 真夏の当日は、気温も水温も高く、お湯のような水温となっている。各値が以前よりよくなり、水のきれいさは良いほうと思いました。 ・ 透明度については、季節柄あまりよいとは言えないが、近場に立つとにおいは感じない程度でありました。運河内でのゴミは少々浮いている箇所もありますが、開門を通り海に出ていくゴミも押さえるために「清港会」による清掃活動は大切であると思いますが、まちの様子を見ると、ひとりひとりの日頃からのゴミに対する心掛けはまだ十分に伝わっていないと感じます。昨年と同様に、伊勢湾三河湾の沿岸や砂浜にたどり着いている現状が改善しなく流れ着く一方であり、現実の深刻さをもっと知る必要があるのではと思います。 	

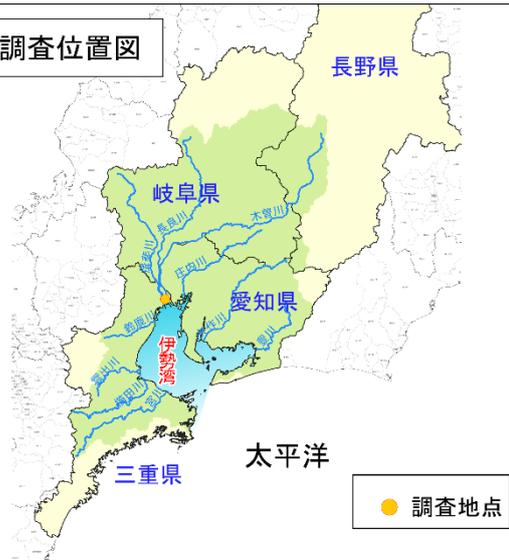
団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会

実施日：2024（R6）年8月19日

主な観測地点：揖斐・長良川左岸

参加人数：7人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 毎年雨季になり上流部より出水があると、木曾三川河口部に、大量のごみ等が流れてきます。その一部が川岸に漂着します。その頃に毎回この行事に地域の児童と参加をさせていただき、児童が環境問題を考えるいい機会ととらえていました。今年学校との調整が難しく児童を交えた活動が出来ず残念に思っています。次年度は、地域児童と参加したいと思います。

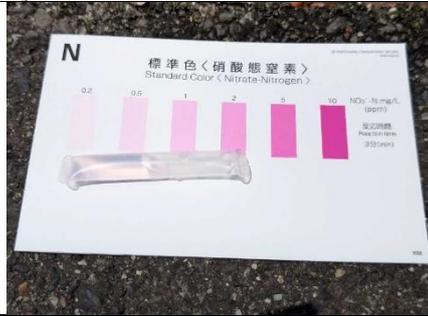
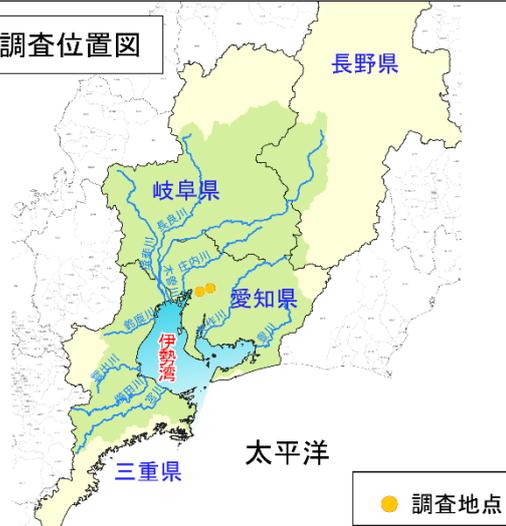
団体名：扇川を愛する緑の会

実施日：2024（R6）年7月21日

主な観測地点：扇川

参加人数：1～2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 夏の水質としては、結果も透視度も普段より良い結果だった。満潮時と干潮時とでは、海水が上がってくるせいか、満潮時の方がいつもは結果が良いが、今回は満潮時、干潮時どちらも良い結果だった。生き物は、満潮時にはコイ、カメが若干確認できたが、干潮時には、コイ、小魚の群れ、それを狙ってカワウが確認出来た。
- 以前に比べると、ごみはかなり少なくなったと感じた。干潮時に、水底に沈んでいるCDが気になった。以前の様に、仲間を集って川に入って掃除ができると良いなと感じた。
- 慣れ親しんだ地元の川なので、皆さんに関心を持っていただいて、いつまでもきれいな川であってほしいです。

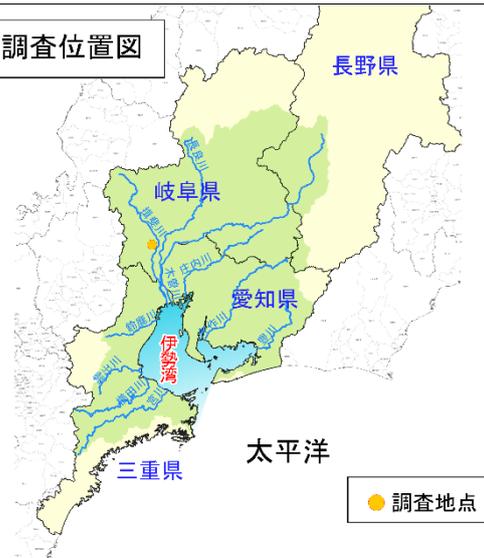
団体名：大垣市生活学校

実施日：2024（R6）年7月23日

主な観測地点：水門川

参加人数：7人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 川の状況：大きな鯉、蝉、カワウ、トンボが川の中、近辺に見られた。

団体名：小里川ダム里山教室

実施日：2024 (R6) 年 7 月 23 日

主な観測地点：庄内川上流の土岐川本流

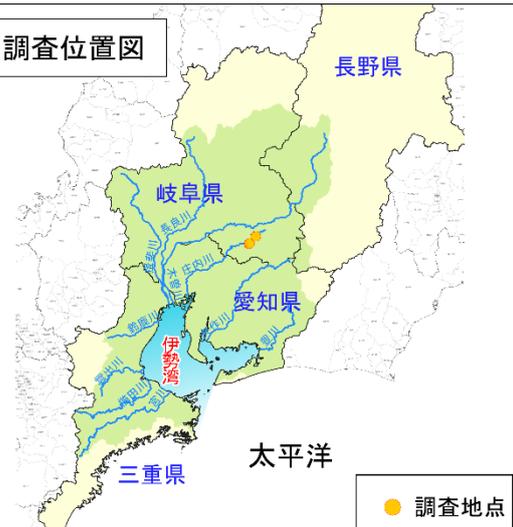
土岐川の支流の小里川

土岐川本流釜戸川

釜戸川支流佐々良木川

参加人数：4 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 支流小里川に架かるはらみこ橋の調査地点は毎年、通り道を確保するのに、汗だくになって背の高い草を切り倒し、やっとの思いでたどり着く。今年は先日の大雨による増水で、川辺の草草はなぎ倒され、通りやすい道ができていました。
- ・ 洪水の心配があった大雨でしたが、水質調査としてはありがたい雨でした。

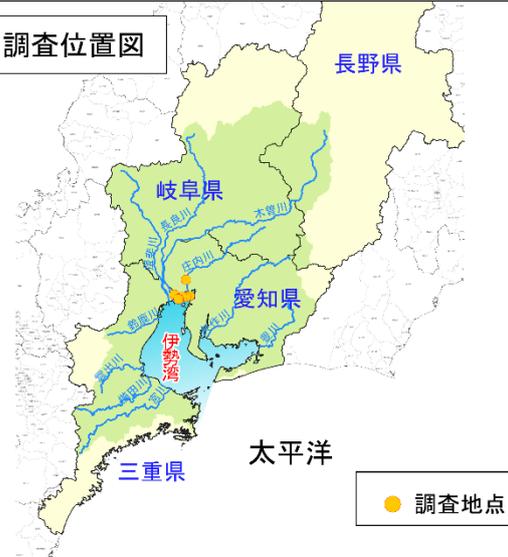
団体名：尾張西部生態系 N/W T・海部野川

実施日：2024 (R6) 年 8 月 24 日、25 日

主な観測地点：庄内川下流、名古屋港西部、
操出川、和泉川等

参加人数：2 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 未明雷雨があったが、ジョウロで散水程度、影響なし。ともかくむし暑い。
- ・ 外国人仲間 5 人釣人あり、声かけたら以前の様に釣れない。
- ・ アオコ発生、左岸側の表面に被膜、ツツジが熱射枯れ、曇で気温も 35°C に至らず観測に支障なし、大型のコイの死因が気になる。
- ・ ペットボトル 7 本投棄。(出口にしては投棄ゴミ少ない)

団体名：金山町生活学校

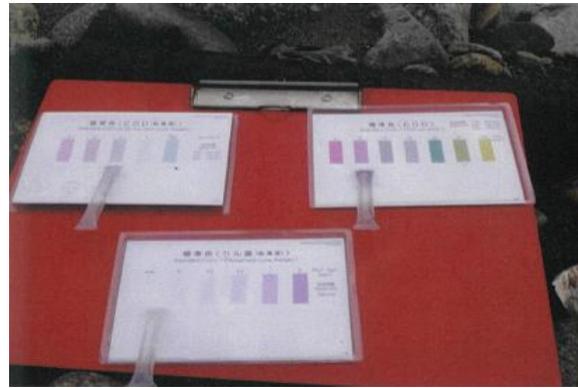
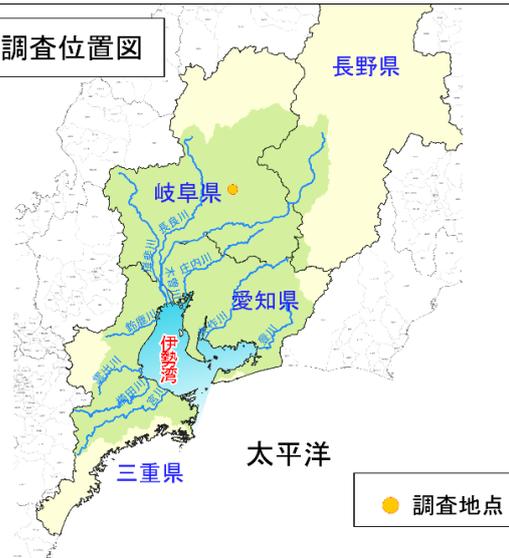
実施日：2024（R6）年7月5日、7日、21日

8月1日、7日

主な観測地点：飛騨川、馬瀬川、菅田川

参加人数：1～2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 下水道なので生活排水はないが、上流で工事をされることもあり常に一定ではない。
- ・ 1回目（飛騨川）は数日雨が降った後なので、川の量も多かった。
- ・ 2回目（飛騨川）は連日盛暑が続き日中は外に出れない状態なので夕方行いました。前回より川の中もきれいであった。
- ・ 1回目（馬瀬川）：日中だったのでとても暑かった。見た目にはとてもきれいで川の底も見える。きれいに流れていた。
- ・ 2回目（馬瀬川）：ちょうちょ・トンボ・バッタなど昆虫類、鳥も飛んでいた。

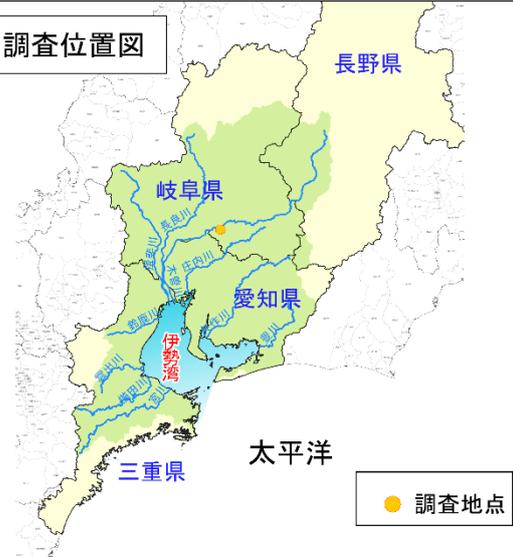
団体名：可児市めだかの楽校

実施日：2024（R6）年8月3日

主な観測地点：可児川

参加人数：30人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 気温、水温ともに 30℃を超えた中でも、ドジョウ、生まれて間もないと思われる 1cm ほどのアカザ、ヤゴ類、エビ類、貝類など多種多様な生き物を見つけることができました。
- ・ 気温が上昇する中で参加者やスタッフの体調管理を一番念頭に置きました。
- ・ 透視度や PH の測定欄をつくってください。

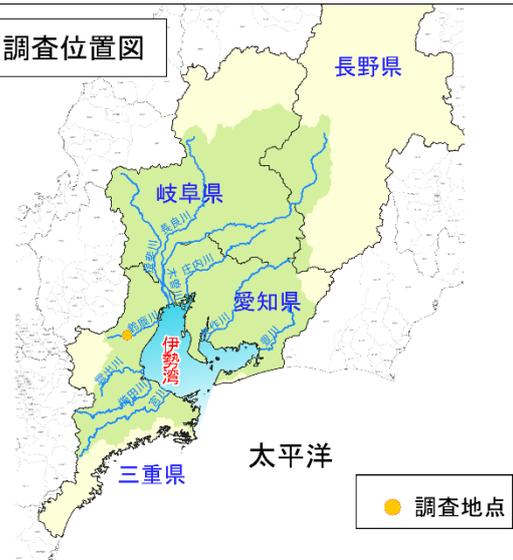
団体名：亀山の自然環境を愛する会

実施日：2024（R6）年8月7日

主な観測地点：鈴鹿川

参加人数：5人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 浅瀬はモンドリには入らなかったがオイカワのキラメキ姿が多く見られた。
- ・ 亀山にはまだモラルのない大人が居る。なさけない!!

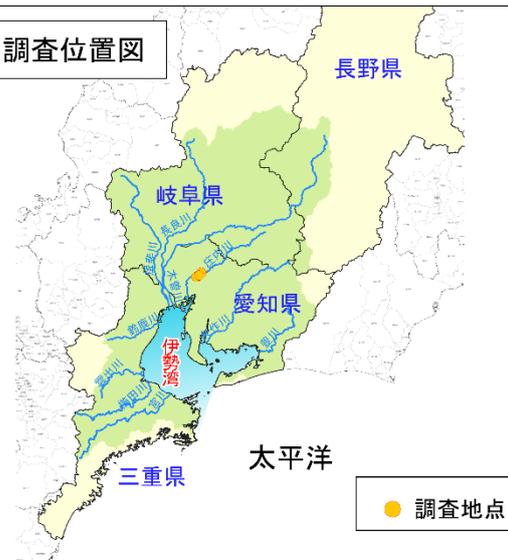
団体名：川ナビ歩こう会

実施日：2024（R6）年7月13日、21日、22日

主な観測地点：堀川

参加人数：2～60人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 毎年楽しく活動していますが、報告がつい遅くなってしまいます。ご迷惑おかけして申し訳ありません。
- ・ 水質調査のキットがありがたいです。
- ・ 今年は暑くて大変でした。熱中症に気を付け、参加者は頑張ってくれました。

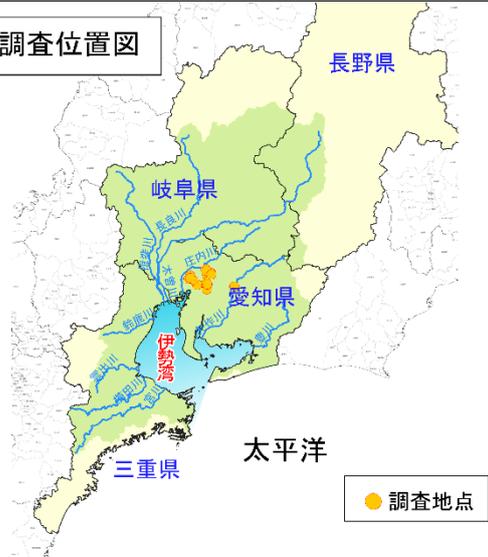
団体名 : ClearWaterProject

実施日 : 2024 (R6) 年 7 月 2 日、19 日

主な観測地点 : 矢作川、扇川、山崎川、新堀川、
中川運河、堀川、天白川、繁盛川、
植田川、香流川、隅除川、矢田川、
藤ノ木川

参加人数 : 1 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 水処理センターの近くだからキレイなのか影響を知りたい。(中川運河)
- ・ 雨の影響で水量が増しているようには見える。

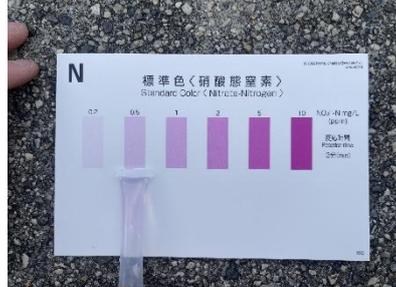
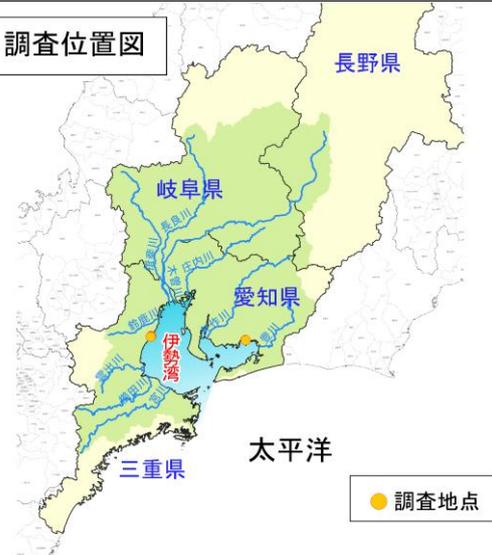
団体名：国連支援交流協会名古屋事務局

実施日：2024（R6）年7月24日、25日

主な観測地点：竹島、白子港

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 10カ所の案内でしたが、5カ所の調査となってしまいました。誠に申し訳ございません。
- ・ 全体的には昨年よりゴミが減っていた。

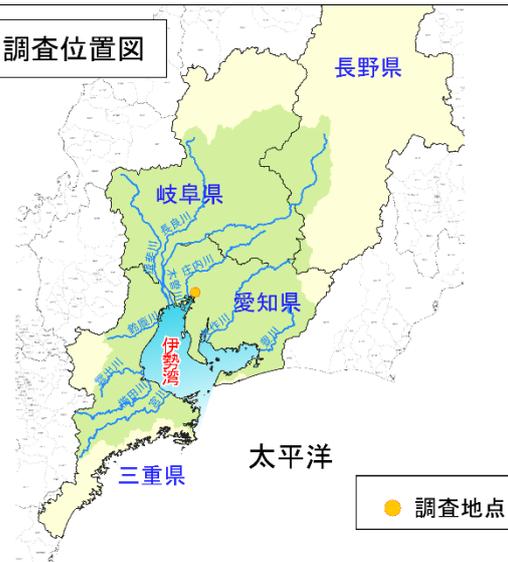
団体名：鯉城・堀川と生活を考える会

実施日：2024（R6）年8月4日

主な観測地点：堀川港新橋

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 名古屋港 最大満潮時刻 5:24 2.40m 最大干潮時刻 12:07 0.43m (大潮) 朔 新月
- ・ 生き物：カワウ：5羽 ボラが時々跳ねている ヨシなどの植物が豊かに生育していると良い。
- ・ 透視度 (23cm) と低い。
- ・ 昨年に比べ右岸の護岸 (水際) にごみが減っている。
- ・ 生き物豊かな堀川にするには調査を継続し、その結果を多くの市民が知り、身近な川に感心を持つことが肝要。

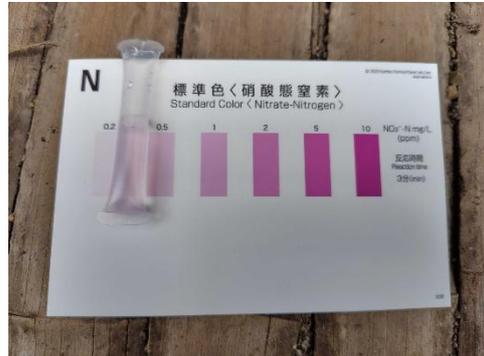
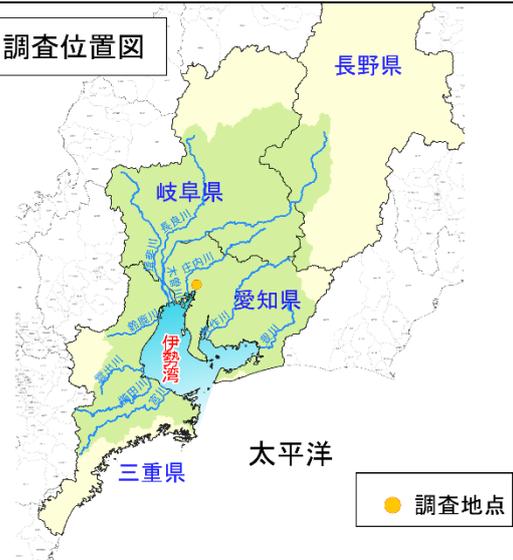
団体名：白鳥庭園

実施日：2024 (R6) 年 7 月 16 日

主な観測地点：堀川

参加人数：2 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 自主的に行っている白鳥庭園内の池の水質と、堀川の水質が全然違っているので、海水と淡水で何が要因となって値が異なるのか知りたくなりました。
- ・ アンモニウム態窒素の値が高い理由が知りたいです。

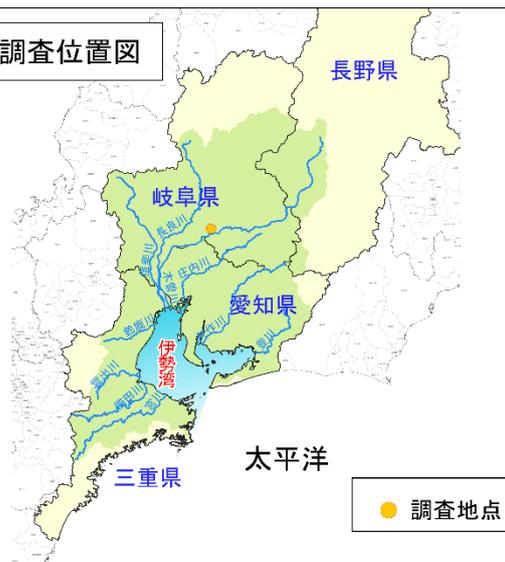
団体名：ステイツチ

実施日：2024（R6）年8月1日

主な観測地点：加瀬田川

参加人数：3人

調査位置図



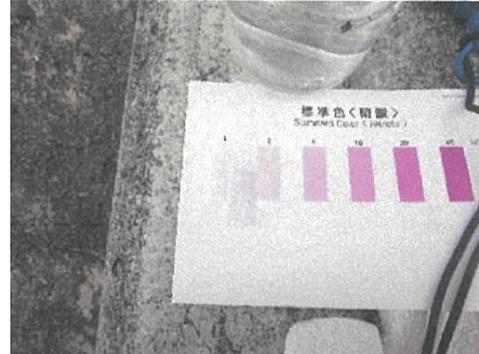
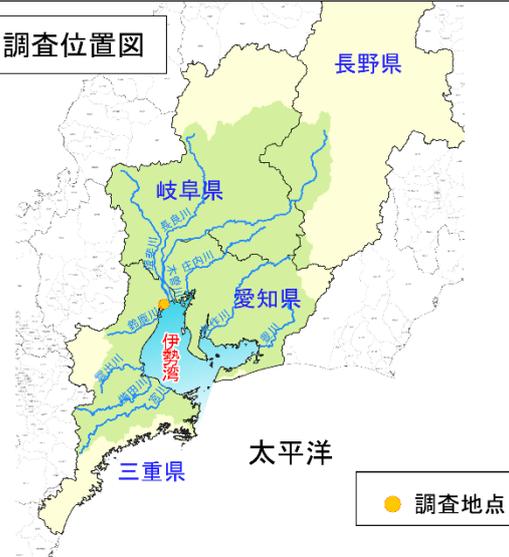
団体名：高松干潟を守ろう会

実施日：2024 (R6) 年 8 月 22 日

主な観測地点：高松海岸、朝明川河口

参加人数：1 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 潮時間のみて実施、調査しやすかった。草木が多く生えている。
- ・ 満潮が近づくにつれ、水位が思った以上に早くあがってきた。
- ・ 暑い時間が長く、気温が下がるのを待っていたことが気になった。
- ・ 台風 10 号が気になり急ぎよ実施、波が荒く感じた。気温が下がって、調査しやすかった。
- ・ 高温の日が続き、調査しにくかったし、声かけが大変であった。

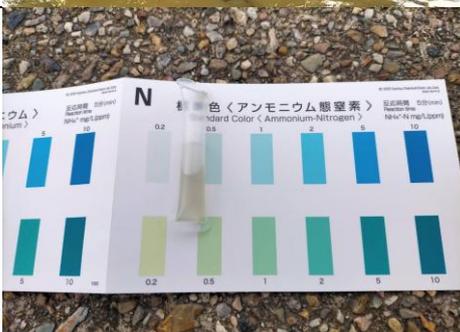
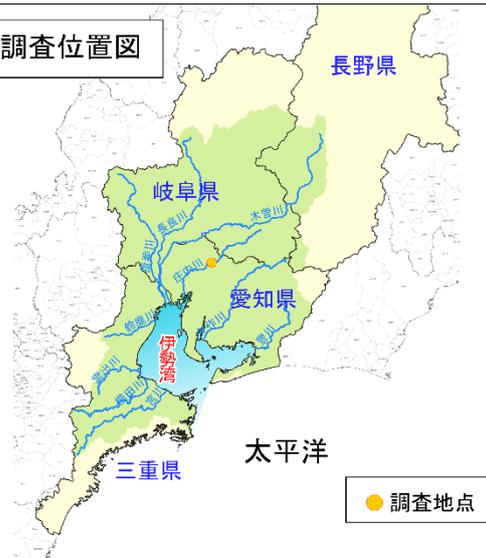
団体名：土岐川・庄内川流域ネットワーク

実施日：2024（R6）年8月28日

主な観測地点：庄内川

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 今回調査した場所は、庄内川左岸 33.8～33.6 の間にある堰の部分の上流側です。普段は志段味ビオトープといわれる所で庄内川の霞堤になっている部分で活動している。
- ・ 庄内川までは雑木、雑草が生えており今回の調査まで実際に川の水にさわった事がなかった。（他の護岸や河川敷では水にはいたり、石をひろったりしている）特に堰の下流側には小魚やヌートリア他、色々な生き物がいた。
- ・ 調査日が台風 10 号の接近で前だおしになったが、河はそれを感じさせないおだやかさだった。
- ・ また、河の水はおもったよりもつめたく、すきとおっていた。

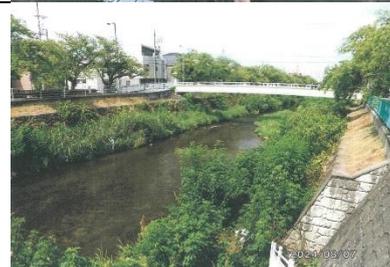
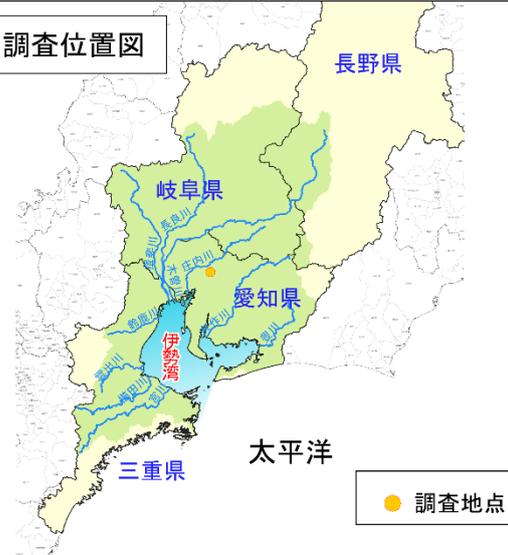
団体名：引山学区保健環境委員会

実施日：2024（R6）年8月7日

主な観測地点：香流川

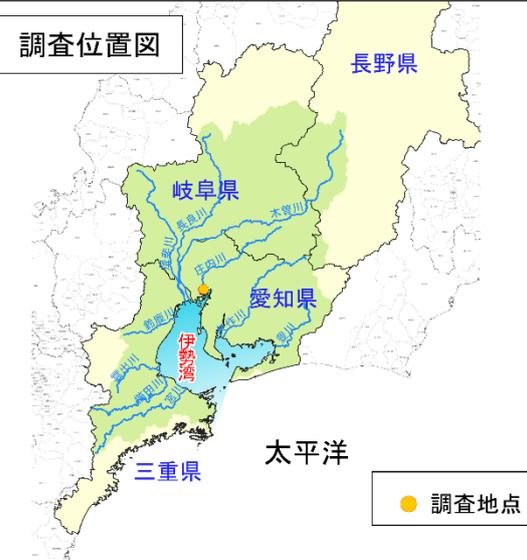
参加人数：7人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 香流川流域、名古屋市名東区引山学区区域内である引山一丁目の、引山小学校を目安に考えてポイントと設定し活動をしています。（定点を決め記録する事が違いの発見と、変化の単位が解ると思われるから）
- ・ 香流川に集まる雨水は地域の保水力が弱い事が感じられる。少しの降雨でも増水の速い事、そして平常水に戻るにも早い事である。今後鉄砲水の発生がありそうである。
- ・ 香流川の平常水量は、ここ数年は安定している様に見える。冬季も変わらず、ほぼ一年通して安定した水量である。
- ・ 水の汚れについては、日常細かい泡状の白い色で、地域の皆さんは紙を溶かした様に視えるとの意見。
- ・ 水の色は薄い黄色に濁っている。泥汚れは季節の水田耕作、河川工事で良しと思う。
- ・ ゴミ類に関しては非常に減ってきました。不法投棄も少なくなり通報の電話は今年度は0件です。（引山学区保健環境委員会への通報に関して、例年2～3件あり）

<p>団体名：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会</p> <p>実施日：2024（R6）年8月5日</p> <p>主な観測地点：庄内川、新川</p> <p>参加人数：2人</p>	<p>調査位置図</p> 
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋港 最大満潮時刻 6：01 2.46m 最大干潮時刻 12：41 0.43m（大潮）朔月 ・ 時期的かと思うが生き物があまり見当たらない。 ・ 採水後、自宅にて測定。 	

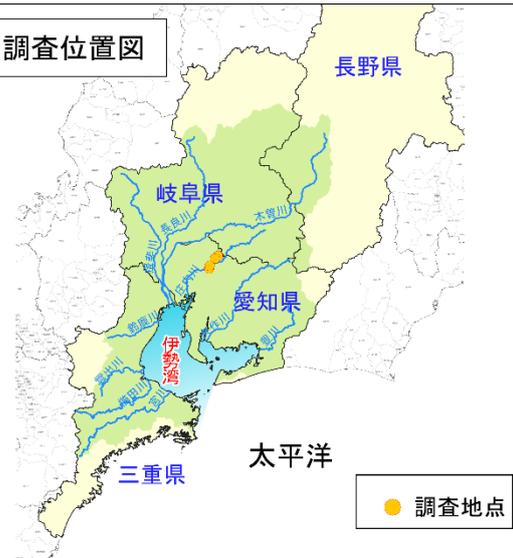
団体名：みどりのまちづくりグループ

実施日：2024（R6）年8月6日

主な観測地点：庄内川

参加人数：4人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 昨夜雨が降ったせいで大谷川源流部では水が勢いよく流れ水も少し濁っていた。が、水の流れのおかげで酷い暑さを感じることなく調査できた。
- ・ ポイ捨てのゴミを目にして、がっかりした。毎年多くのゴミが捨てられている場所で今年の調査日にゴミが落ちていなかったのだが、簡単にはゴミ捨てはなくなると改めて思った。
- ・ 庄内川の上条河畔林で平成19年から自然体感のイベントを開いていたが、河畔林がほぼ消滅しイベントを開く環境ではなくなったので、令和1年にはイベントを中止した。切り離されていたワンドの本流との境が復活していたが、イベント再開するような魅力は無くなった。
- ・ 三方コンクリート護岸のコンクリートの橋の下という殺風景な場所だが、釣り人がいることが多く、堤防を散歩している人の休憩場所にもなっているようだ。

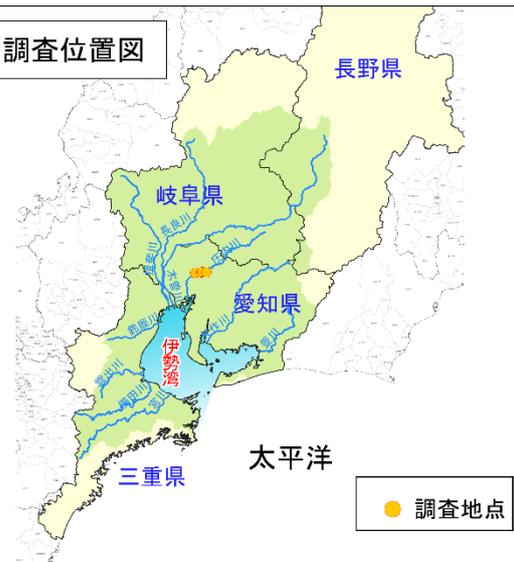
団体名：矢田・庄内川をきれいにする会

実施日：2024（R6）年7月6日

主な観測地点：庄内川、八田川

参加人数：6人

調査位置図



団体名：養老町女性会議

実施日：2024（R6）年7月2日

主な観測地点：五日市川、金草川

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ キット色別を明確に（シールを利用して下さい）
- ・ 銀色の袋の為、キット文字（記号）がわかりにくい。
- ・ 5年経ってやっと、キットの分別による調査が出来ました。

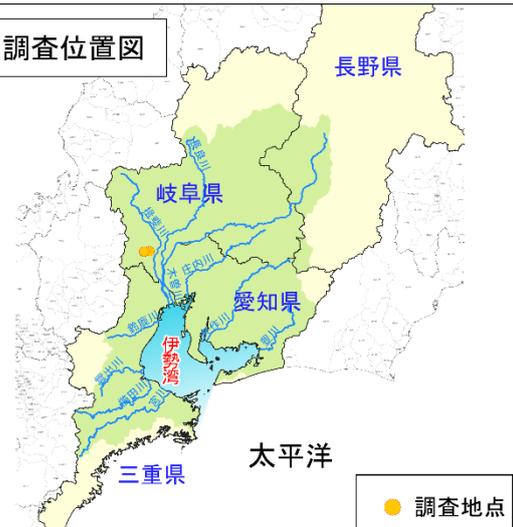
団体名：養老町生活と環境を考える会

実施日：2024（R6）年8月23日

主な観測地点：牧田川、小畑川

参加人数：6人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 小畑川上流のせりゅう橋が整備され、交通量も増えました。便利になった反面＜ポイ捨て＞された、空き缶・ペットボトル・発泡スチロール・ビニールシートが目立つようになりました。
- ・ 笹・草・木々が伸び、川の流が遮断される場面も見受けられました。小畑川堤防の除草への取り組みは地域で継続されています。
- ・ 牧田川付近の笹・木・草などの伐採が、近年毎年施行されており、ゴミの散乱が少なくなりました。
- ・ しかし、＜ポイ捨て＞されたペットボトル・発泡スチロール・空き缶等が伸びた草・木々に絡まっていました。
- ・ 今回、熱中症対策の一助として、水質検査判定は、役割分担を密にして、室内での取り組みをいたしました。

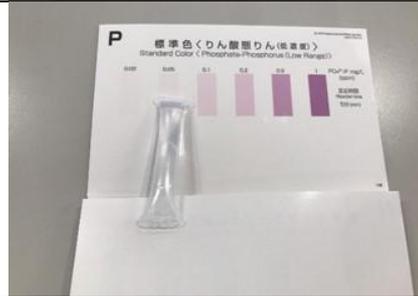
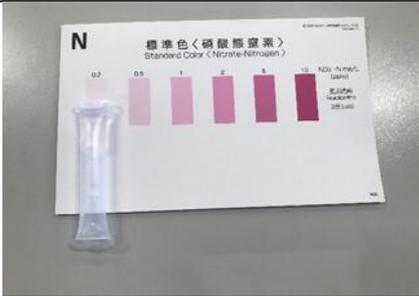
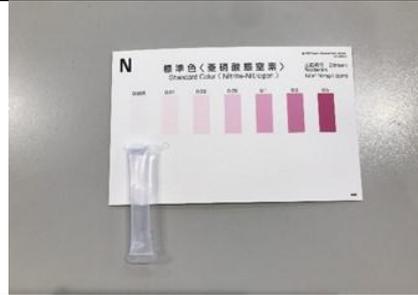
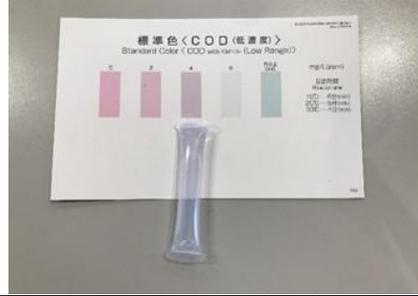
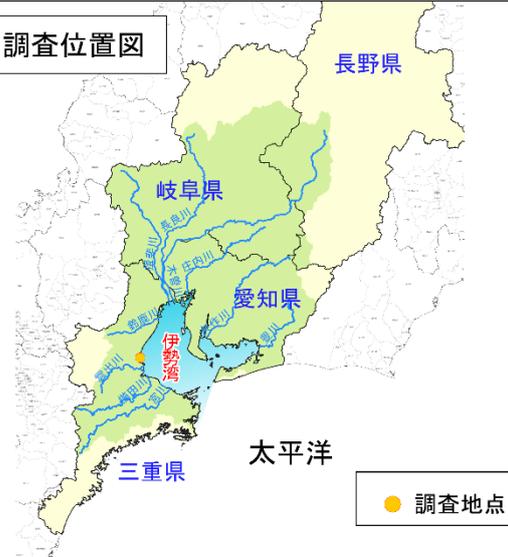
団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会

実施日：2024（R6）年8月21日

主な観測地点：岩田川河口

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 当協議会では、中部国際空港への高速船アクセス港である「津なぎさまち」周辺の水質環境について、当該取組を通じて継続的に調査を行っている。
- ・ 今回の調査において採取した水を水道水と比較したところ、目視においては細かい浮遊物が多少みられるものの、着色や濁りは認められず、また、パックテストによる試薬調査においても、各調査項目ともに低値を示し、昨年度の調査結果と比較しても特に大きな変化はなかったことから、水域の環境は概ね良好に保たれていることが確認できた。
- ・ 周辺のごみに関しては、水面には見当たらないものの、水際には缶、ペットボトル、木くずなどが少ないながらも落ちていた。
- ・ 伊勢湾流域圏が一体となって、このような調査を実施することは、自然環境の保全意識高揚の観点からも、非常に意義深いことであるため、今後も継続的な取り組みをお願いしたい。

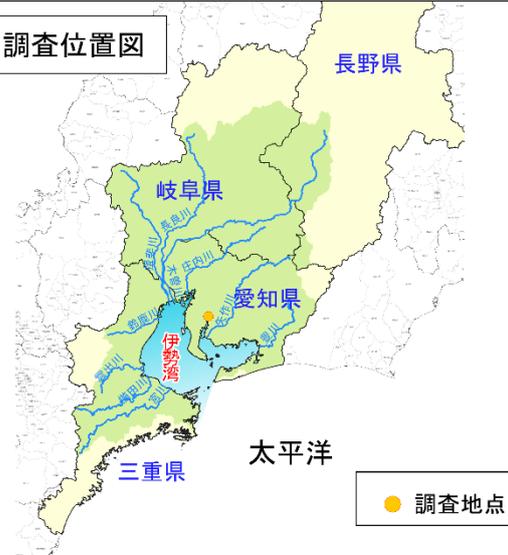
団体名：渡し場かもめ会

実施日：2024（R6）年8月4日

主な観測地点：衣浦港

参加人数：42人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 調査日は朝早くからハゼ釣りを楽しむ人で賑わっています。水質調査をする多目的広場の西側海岸では、依然とゴミの放置は目立っています。今回は一斉水質モニタリング調査と増え続ける海洋プラゴミについて環境教室を同時に開催し、河川や海洋ゴミの問題の意識を高めるため海洋プラゴミを拾います。昨年からは、ピンセットを使ってマイクロプラスチックを拾う試みをしていますが、一見、きれいに見える海岸もよく見ると、細かなマイクロプラスチック等がたくさん落ちています。海の汚染の実態を知ってもらい、プラスチックゴミを減らそうと思います。海洋プラゴミ環境教室では、子供たちはたくさんマイクロプラスチックを拾って調べてくれました。マイクロプラスチックは、微細なため、環境中から回収することが大変困難です。伊勢湾に流入する河川などからの海洋ゴミ対策を行うなどの海をきれいにするには私たちに限りがあります。ゴミを捨てずに家に持ち帰ることを行っていきたいと思いますが、限界があります。伊勢湾流域圏の海洋ゴミ対策は広域連携が必要となります。伊勢湾の環境再生につなげて行くには、併せて伊勢湾ゴミ対策も伊勢湾再生に必要となると考えられます。

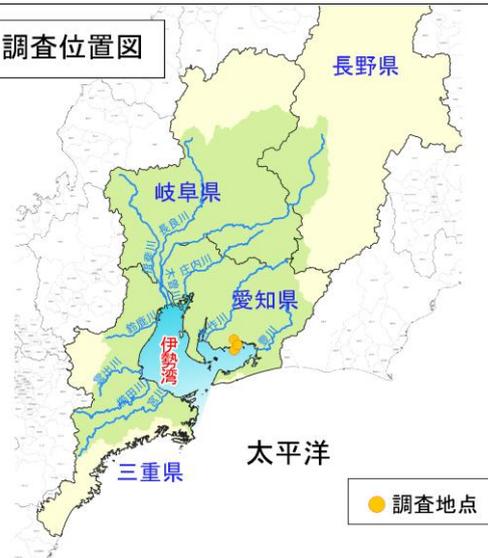
団体名：個人参加（柳稲葉山観測所）

実施日：2024（R6）年8月3日

主な観測地点：拾石川、松島、春日浦公園

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 昨年・一昨年に引き続き、「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」に参加させていただきありがとうございます。
- ・ 今年は、7月の初旬より非常に暑い日が続いており、猛暑による生態系に与える影響が懸念されます。（最高気温 30℃以上の日 7月:27日、8月:22日（記入日 8/22）（※稲葉山観測所調べ））昨年は6/2の豪雨による影響が原因なのかわかりませんが、各測定箇所とも生き物の数量・種類が少なく感じたのですが、今年は一昨年並みに回復しているように感じました。しかしながら上記にも記載させていただきましたが、猛暑が来年以降、生態系にどのような影響を与えていくのか引き続き、観察を続けていきたいと思えます。
- ・ 調査個所の水質は非常に良好であると思われます。この状態が継続・また、さらに改善されるよう、海岸保全活動などに参加していきたいと思っています。
- ・ 来年も調査に参加させていただきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

団体名：個人参加

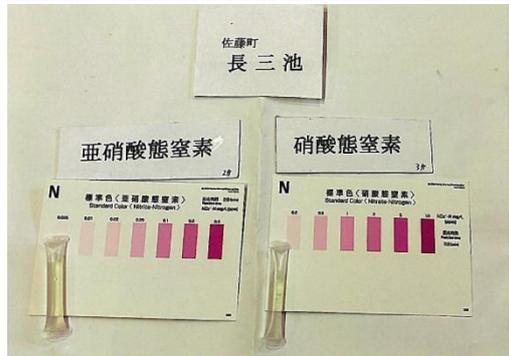
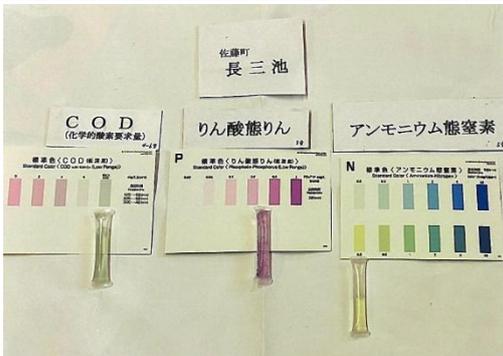
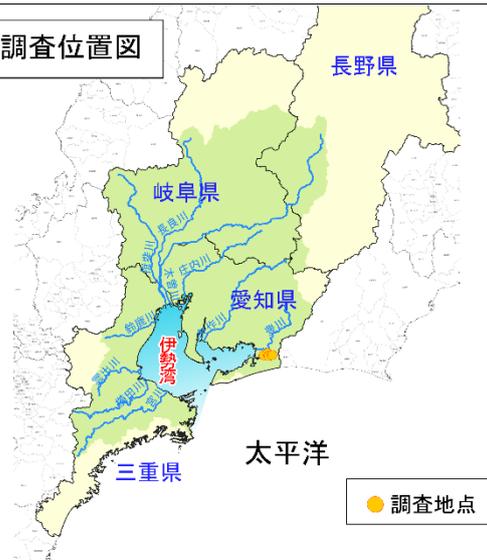
(梅田川・柳生川沿いの池の水質調査)

実施日：2024 (R6) 年 8 月 17 日

主な観測地点：鯰池、柱大池、向山大池、長三池
唐沢池

参加人数：4 人

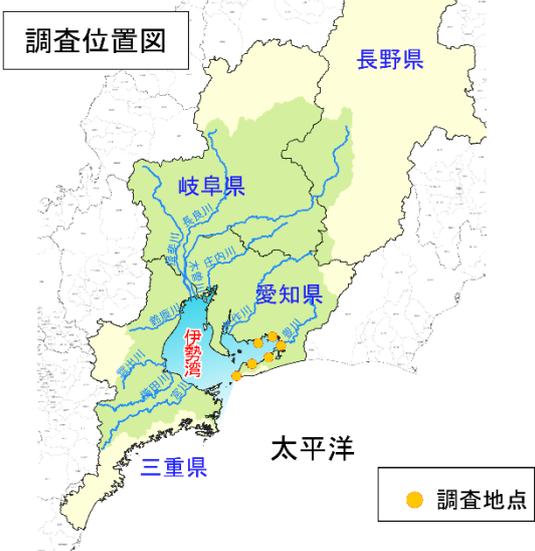
調査位置図



【感想やご意見等】

- 暑い時期の日中で、孫との協同作業で、楽しくもあり大変でした。もう少し涼しい時期に実施できないのでしょうか。春とか秋に！

3.3 企業の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング

<p>団体名：神野建設株式会社</p> <p>実施日：2024（R6）年7月30日</p> <p>主な観測地点：三河湾</p> <p>参加人数：2～3人</p>	<p>調査位置図</p> 
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全個所を通じ水質は良好であった。 ・ また、パックテストでは色の変化がなく測定範囲外（不検出）なのかわからない物質もあり検査精度に不安が残った。 	

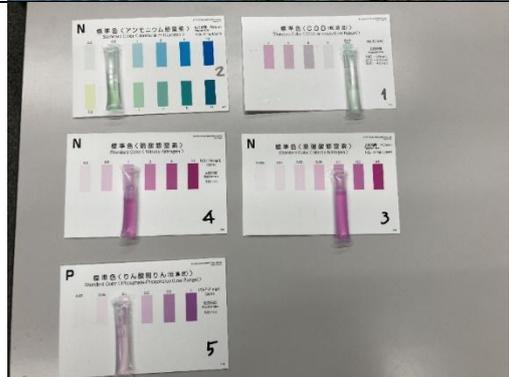
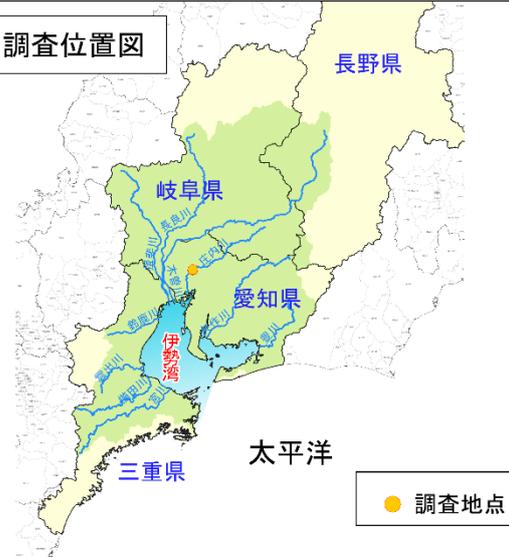
団体名：東芝プラントシステム株式会社

実施日：2024 (R6) 年 8 月 21 日

主な観測地点：庄内川

参加人数：2 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 平成 27 年度から参加させていただき今年 10 回目になりました。私たちに出来ることはわずかですが、定点モニタリングを継続することで伊勢湾の再生に少しでも寄与できればと思います。この活動により多くの方が参加され、収集されたデータにより伊勢湾流域圏が再生され次世代に継承されることを願っております。

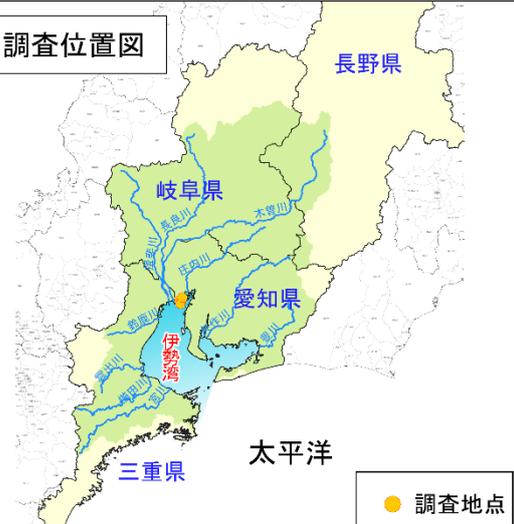
団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

実施日：2024（R6）年7月26日

主な観測地点：名古屋港

参加人数：13人

調査位置図



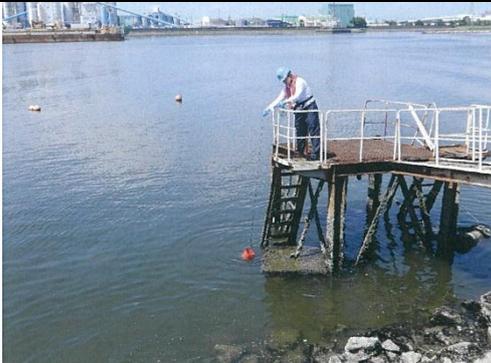
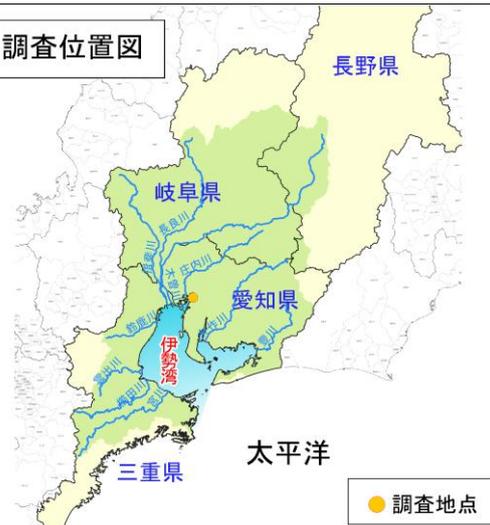
団体名：東洋建設株式会社

実施日：2024（R6）年7月5日

主な観測地点：天白川

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 今回は前年と同じ場所でのモニタリングを実施したが、昨年に比べ水の色は透明に近い色であった。
- ・ また、調査項目のCOD以外は昨年より低い値になっていた。

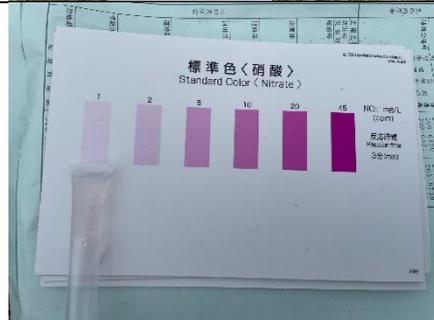
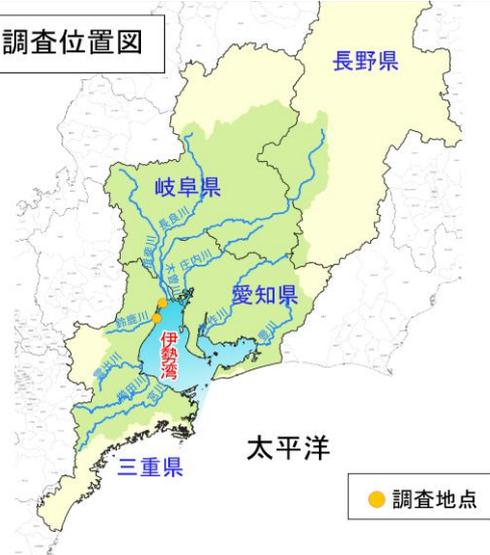
団体名：株式会社東海環境調査

実施日：2024 (R6) 年 7 月 15 日

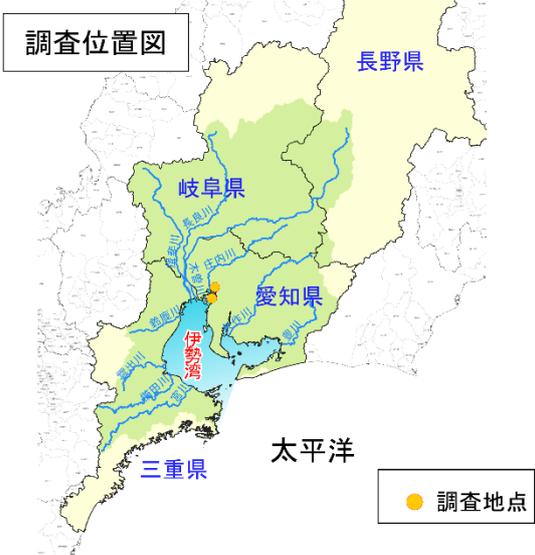
主な観測地点：高松干潟、吉崎海岸

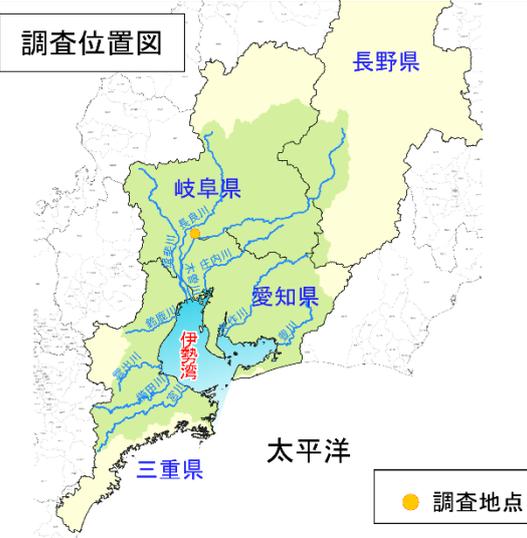
参加人数：2 人

調査位置図



3.4 行政機関の伊勢湾流域圏一斉モニタリング

<p>団体名：伊勢湾再生海域検討会（東海市エコスクール）</p>	<p>調査位置図</p> 
<p>実施日：2024（R6）年8月19日 主な観測地点：名古屋港 参加人数：18人</p>	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 海について深く考えるきっかけになった。・ 船に乗れたり、海の問題が分かった。	

<p>団体名：岐阜県岐南町</p>	<p>調査位置図</p> 
<p>実施日：2024（R6）年8月13日</p> <p>主な観測地点：境川</p> <p>参加人数：2人</p>	
	
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年、夏休みという事もあり、職員の子供達と一緒にモニタリング調査を実施しておりますが、連日の気温が38度に迫る猛暑であるため、今年度は職員のみで実施いたしました。調査地点の上流で河川改修に伴う工事を実施しており、水質に影響があるかと懸念しておりましたが問題なさそうでした。 調査地点は河川改修が済んでおり、河床状況も変わりなく穏やかに水は流れています。ただ、年々雑木が大きくなり、増水時に支障物が引っかかる恐れがあるため河川管理者と調整を取り、適切に管理したいです。 	

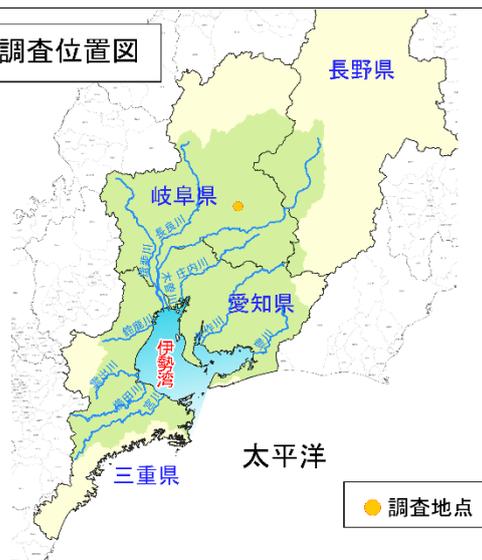
団体名：岐阜県白川町役場

実施日：2024（R6）年8月1日

主な観測地点：白川

参加人数：30人

調査位置図



団体名：第四管区海上保安本部

実施日：2024（R6）年7月1日、2日、4日、30

日、8月15日、21日、22日

主な観測地点：名古屋港、四日市港

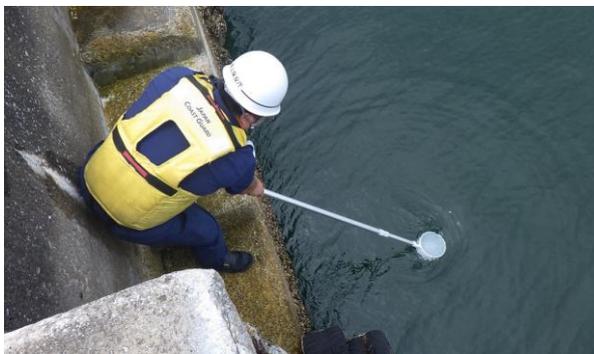
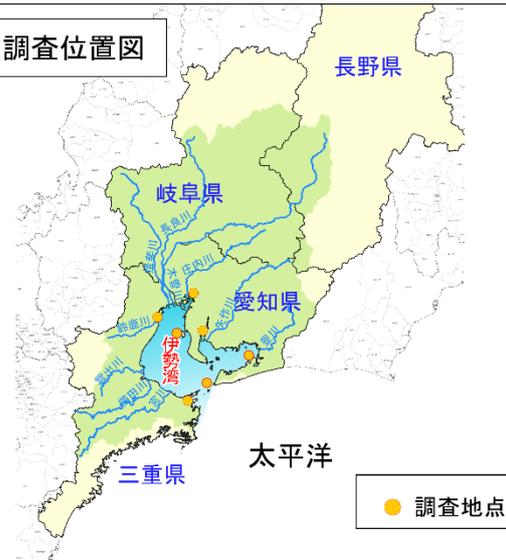
鳥羽港、伊良湖港

常滑港、衣浦港

三河港

参加人数：1～3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 簡易水質テストのサンプル数が少ないことから第四管区海上保安本部として、各部署の協力を得て、7地点の採水に協力させて頂いた。
本モニタリングの主旨を鑑みれば、一般市民の参加が望ましく、幅広い地域の参加者を募る必要がある。
- ・ 水質の変化を定期的に観測できる利点があると感じている。

4. 伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査結果

4.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査結果では次の8項目を示します。分析による水質調査の結果は現在集計中です。

表 4.1 分析による水質項目

水質項目	水質項目が示すもの
① BOD (生物化学的酸素要求量)	河川の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② COD (化学的酸素要求量)	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑤全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥DO (溶存酸素)	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦SS (浮遊物質)	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川の有機物による水の汚れを示します。

環境省の環境基準（河川、湖沼を除く）

類型	AA	A	B	C	D	E
BOD	1mg/L 以下	2mg/L 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	8mg/L 以下	10mg/L 以下



図 4-1 BOD(生物化学的酸素要求量) (分析による水質調査結果)

特に揖斐川、長良川、木曾川の本川周辺では1mg/L未満の調査結果が多くなっています。また、庄内川の河口周辺では、2mg/L以上の調査結果もみられています。

COD (化学的酸素要求量)

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準 (海域)

類型	A	B	C
COD	2mg/L 以下	3mg/L 以下	8mg/L 以下

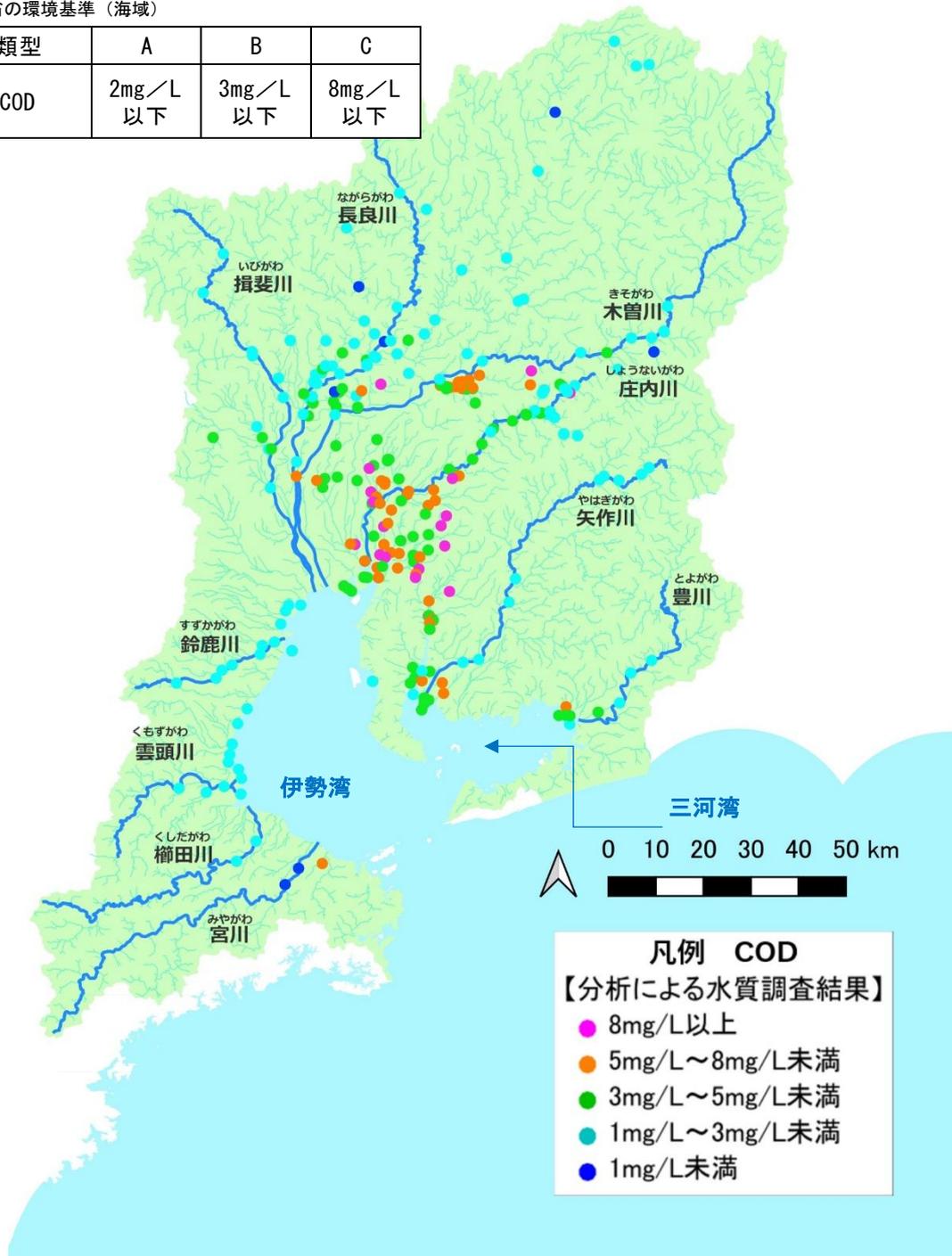


図 4-2 COD (化学的酸素要求量) (分析による水質調査結果)
庄内川下流では 5mg/L 以上の調査結果が多くなっています。
また、特に長良川中流周辺では 5mg/L 未満の調査結果が多くなっています。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。

pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。

環境省の環境基準

pH	AA	A	B	C	D	E
河川	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下
海域	—	7.8 以上 8.3以下	7.8 以上 8.3以下	7.0 以上 8.3以下	—	—



図 4-3 pH(分析による水質調査結果)

河川では一般的に 7 付近の中性で、河川の観測値の多くが 7~8 未満となっています。河川の一部の地点では 8 以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海の pH は一般的に 8 前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は 8 以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

環境省の環境基準（海域）

類型	I	II	III	IV
全窒素	0.2mg/L 以下	0.3mg/L 以下	0.6mg/L 以下	1mg/L 以下



図 4-4 全窒素(分析による水質調査結果)
0.4mg/L 以上のところが多くなっています。

全リン

水中のリンの量を示します。

リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

環境省の環境基準（海域）

類型	I	II	III	IV
全リン	0.02mg/L 以下	0.03mg/L 以下	0.05mg/L 以下	0.09mg/L 以下



図 4-5 全リン（分析による水質調査結果）

0.05mg/L以上のところが多くなっています。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。

溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。

環境省の環境基準

DO	AA	A	B	C	D	E
河川	7.5mg/L 以上	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	2mg/L 以上
海域	—	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	—	—

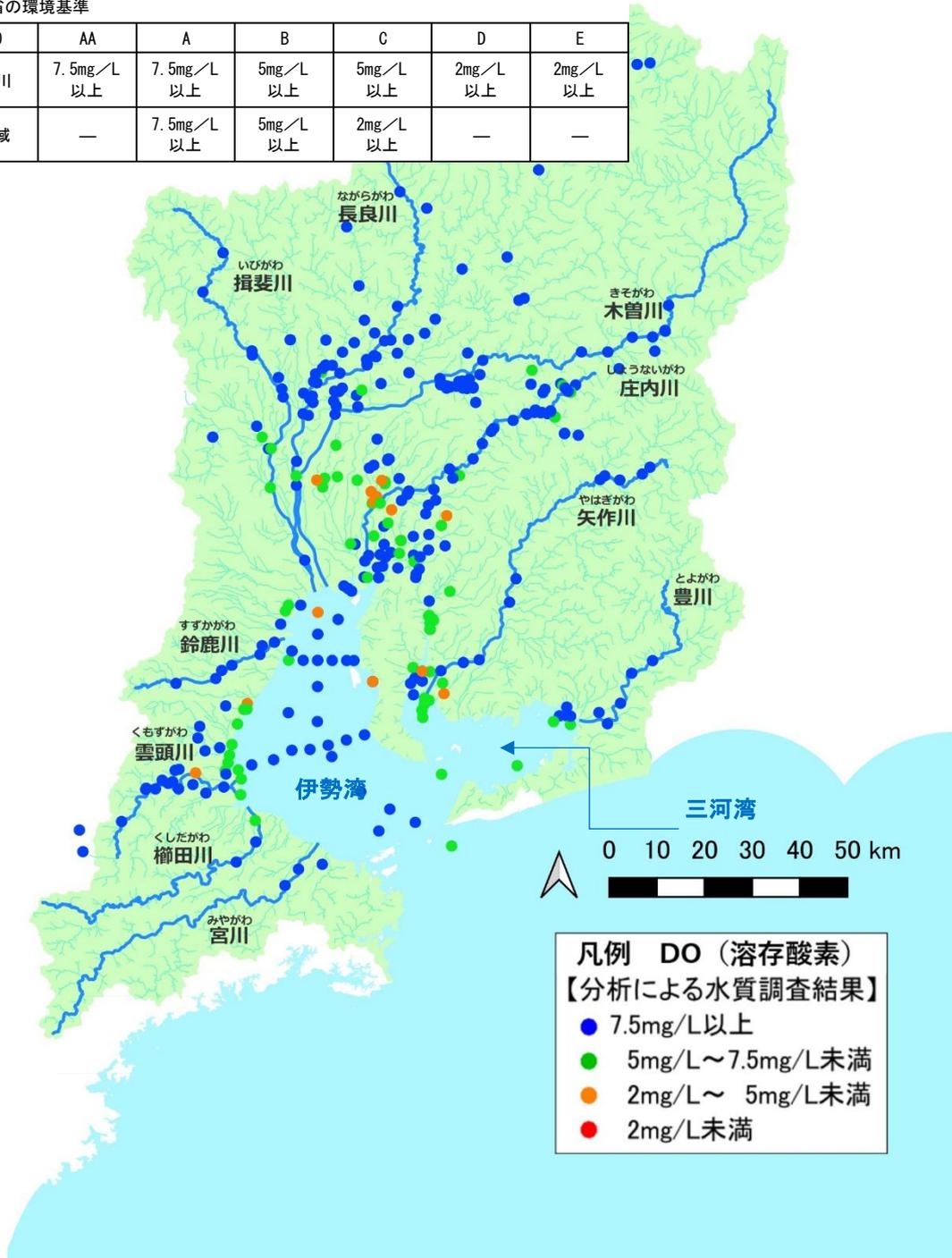


図 4-6 DO(溶存酸素) (分析による水質調査結果)

河川流域圏で 7.5mg/L 以上のところが多くなっています。

海域は海面付近の値を示しています。

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準（河川）

類型	AA	A	B	C	D	E
浮遊物質 質量 (SS)	25mg/L 以 下	25mg/L 以 下	25mg/L 以 下	50mg/L 以 下	100mg/L 以 下	ごみ等 の浮遊 が認め られない こと。



図 4-7 SS(浮遊物質) (分析による水質調査結果)
多くの観測地点は、25mg/L未満となっており、河川の環境基準 A 類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。
 水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

環境省の環境基準

大腸菌群数	AA	A	B	C	D	E
河川	50MPN/ 100mL 以下	1,000MPN/ 100mL 以下	5,000MPN/ 100mL以下	—	—	—
海域	—	1,000MPN/ 100mL以下	—	—	—	—



図 4-8 大腸菌群数(分析による水質調査結果)
 1000MPN/100mL 未満の値となっている地点が多くみられます。

4.2 簡易水質テスト結果

簡易水質テストの参加者の方々には、以下のモニタリング項目について調査していただきました。

<p>＜伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査項目＞</p> <p>水温、COD（化学的酸素要求量）、$\text{NH}_4^+\text{-N}$（アンモニウム態窒素）、$\text{NO}_2^-\text{-N}$（亜硝酸態窒素）、$\text{NO}_3^-\text{-N}$（硝酸態窒素）、$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$（リン酸態リン）、天気、水のきれいさ（色、にごり、におい）、水の量（量、速さ）、ごみの状況（場所、量）、生き物の状況（種類、量）、植物の状況（場所、量、種類）</p>

モニタリング調査項目の内、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （リン酸態リン）の結果を図 4-9～図 4-13 に示しました。

また、見た目の水のきれいさと水のにごりを 5 段階で示していただいた結果を図 4-14 と図 4-15 に示しました。

表 4-2 簡易水質テストの水質項目

モニタリング調査項目	モニタリング調査項目が示すもの
① COD （化学的酸素要求量）	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）	窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの発生原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり、濃度が高い場合、生活排水や工場排水、あるいは田畑から肥料分が流れて出ていると考えられます。
③ $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。不安定な物質ですが、pH 等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が 10mg/L 以下に設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （リン酸態リン）	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸などにより供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの発生原因となります。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準（海域）

類型	A	B	C
COD	2mg/L 以下	3mg/L 以下	8mg/L 以下



図 4.9 COD(化学的酸素要求量) (簡易水質テスト結果)

人口が密集する市街地を流れる庄内川では、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

NH₄⁺-N（アンモニウム態窒素）

窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH₄⁺-Nは、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。



図 4.10 NH₄⁺-N (アンモニウム態窒素) (簡易水質テスト結果)

流域圏全体で 0.2mg/L～0.5mg/L のところが多くなっています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NH₄⁺-N (アンモニウム態窒素) が高くなっていると考えられます。流域全体としては 0.5mg/L 未満の割合は 8 割程度であり、比較的良好であるといえます。

NO₂⁻-N (亜硝酸態窒素)

NO₂⁻-Nは、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。



図 4.11 NO₂⁻-N (亜硝酸態窒素) (簡易水質テスト結果)

流域圏全体で、0.007mg/L以上のところが多くなっています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NO₂⁻-N (亜硝酸態窒素) 濃度が高くなっていると考えられます。

0.007mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、3~4 割程度となっています。

NO₃⁻-N (硝酸態窒素)

NO₃⁻-N は、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。きれいな水は NO₃⁻-N の割合が高くなります。ただし、NO₃⁻-N が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO₂⁻-N と NO₃⁻-N の合計が 10mg/L 以下と設定されています。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 4.12 NO₃⁻-N (硝酸態窒素) (簡易水質テスト結果)

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NO₃⁻-N (硝酸態窒素) 濃度が高くなっていると考えられます。1.2mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は、8割程度となっています。

PO₄³⁻-P (リン酸態リン)

PO₄³⁻-P は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO₄³⁻-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

リンのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 4.13 PO₄³⁻-P (リン酸態りん) (簡易水質テスト結果)

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、PO₄³⁻-P (リン酸態リン) 濃度が高くなっていると考えられます。0.11mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は、8 割程度となっています。

見た目の水のきれいさ

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査を実施したときの水のきれいさについて、5段階（悪い）1・2・3・4・5（良い）で評価しています。

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 4.14 見た目の水のきれいさ

市街地を流れる庄内川の一部や、三河湾湾奥部でも3以上の比較的水がきれいという評価がされています。

また、一部の観測地点において、1、2の比較悪い評価が見られますが、庄内川などの市街地付近でも4～5の評価などきれいな水の評価がみられます。

見た目の水のにごり

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査を実施したときの水のにごりについて、5段階（（良い）1 澄んでいる・2 中間・3 少し濁っている・4 中間・5 とても濁っている（悪い））で評価しています。
調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 4.15 見た目の水のにごり

人口が密集する市街地を流れる庄内川の一部では、4 以下の比較的水がにごっているという評価がされています。

4.3 アンケート結果の経年変化

簡易水質テストの他に、参加していただいた団体に、調査地点に関するアンケートに回答して頂いております。アンケートの項目は、下記のとおりです。

2009（H21）年度から行われているアンケート結果の経年的な変化を次頁以降に整理しました。

- 水のきれいさ：色、にごり、におい
- 水量：量、速さ
- ごみ状況：川面・海面、水際
- 生物：生き物の種類、魚の量、種類（魚を含む）
- 植物：周辺、水際、種類

(1) 水のきれいさ

2024 (R6) 年度は、2023 (R5) 年度と比較して水のきれいさ (1 青色、2 水色の合計) に大きな変化はありませんでした。

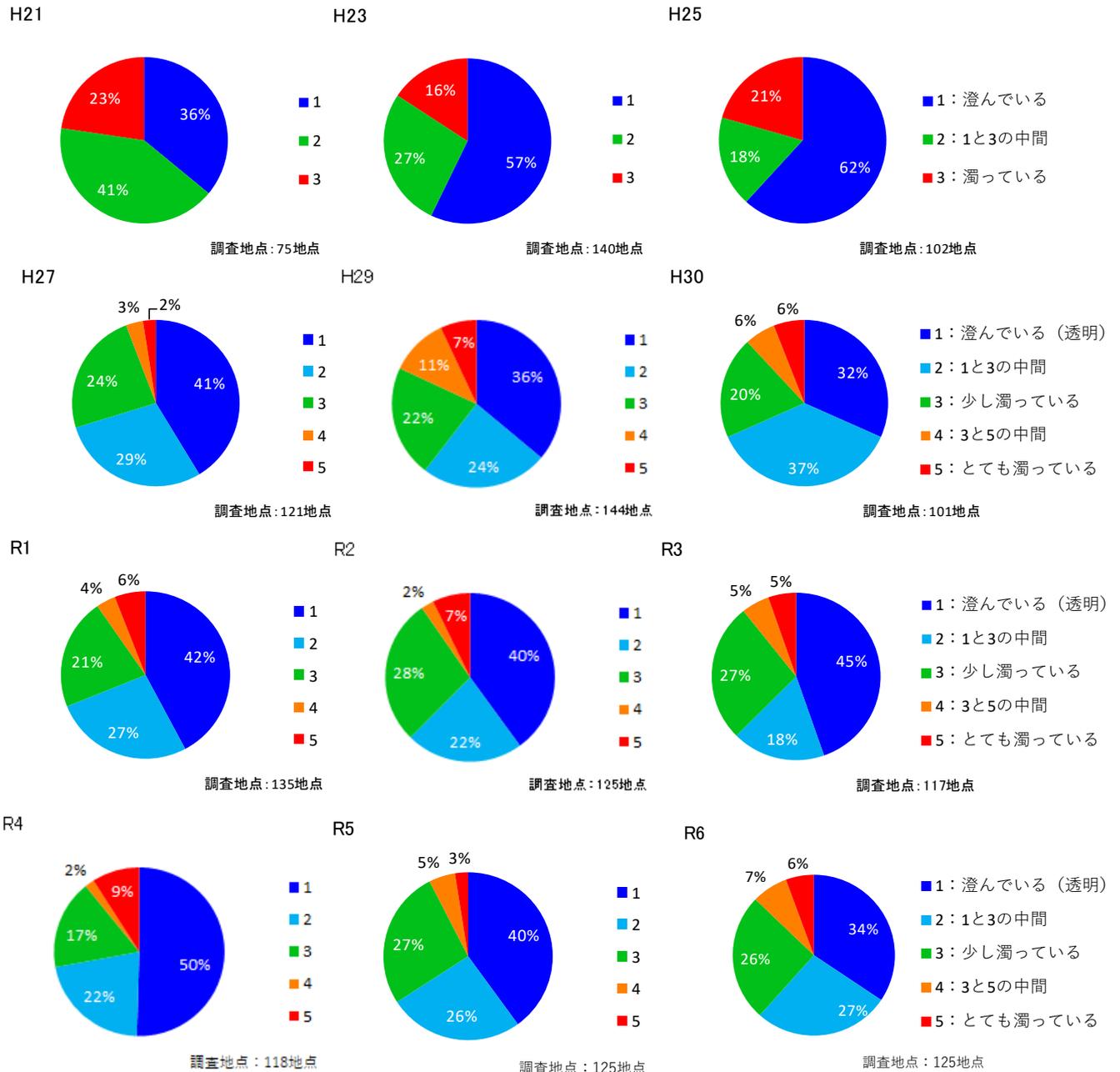


図 4.16 簡易水質テストにおけるアンケートによる「水のきれいさ」の経年調査結果

※2009 (H21)～2014 (H26) は 3 段階評価、2015 (H27) 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(2) 水量

2024 (R6) 年度は、2023 (R5) 年度と比較して水量の多い割合 (1 青色、2 水色の合計) に大きな変化はありませんでした。

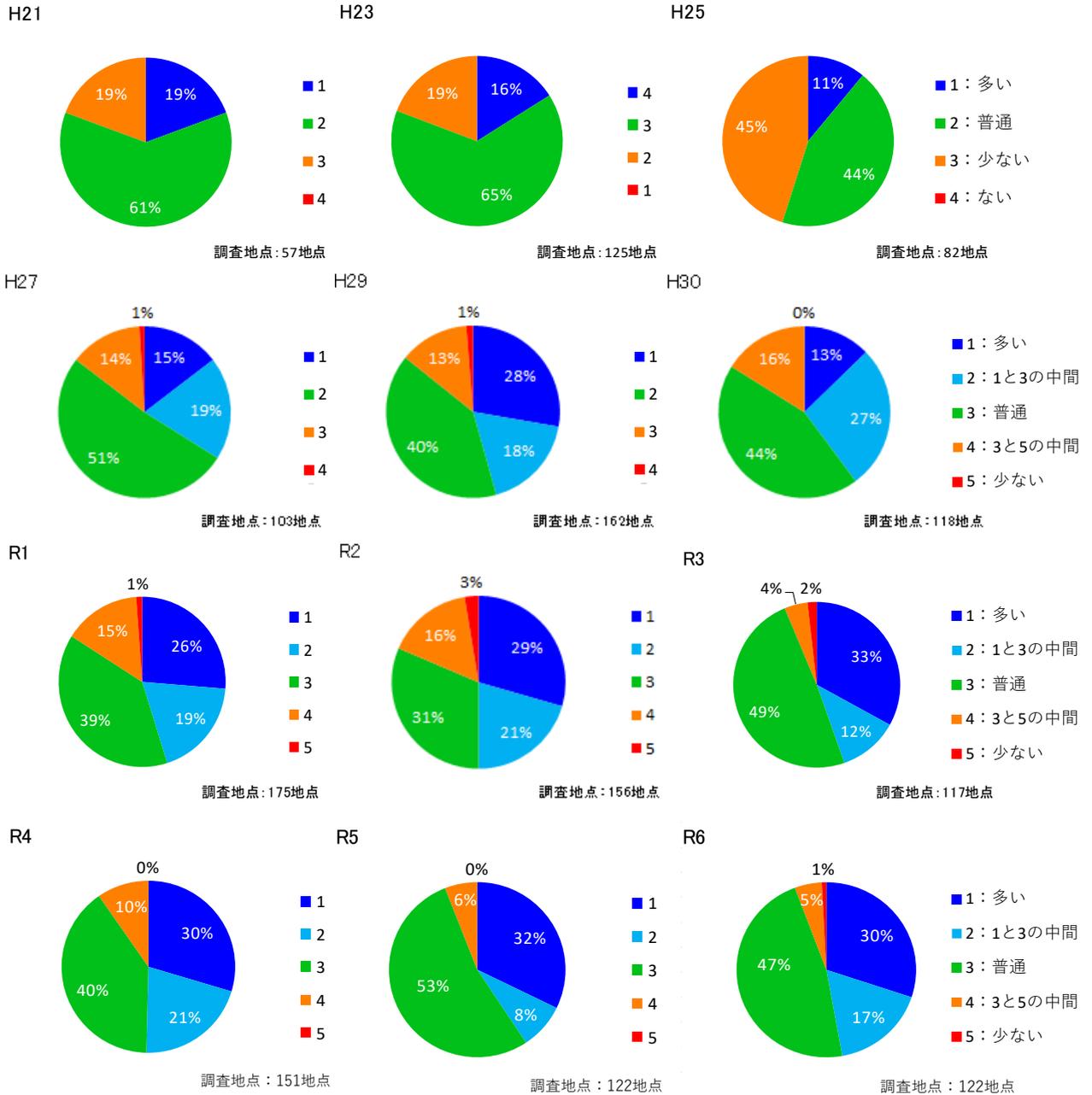


図 4.17 簡易水質テストにおけるアンケートによる「水量」の経年調査結果

※2009 (H21)～2014 (H26) は 3 段階評価、2015 (H27) 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(3) ごみ状況（水面）

2024（R6）年度は、2023（R5）年度と比較してごみ状況に大きな変化はありませんでした。

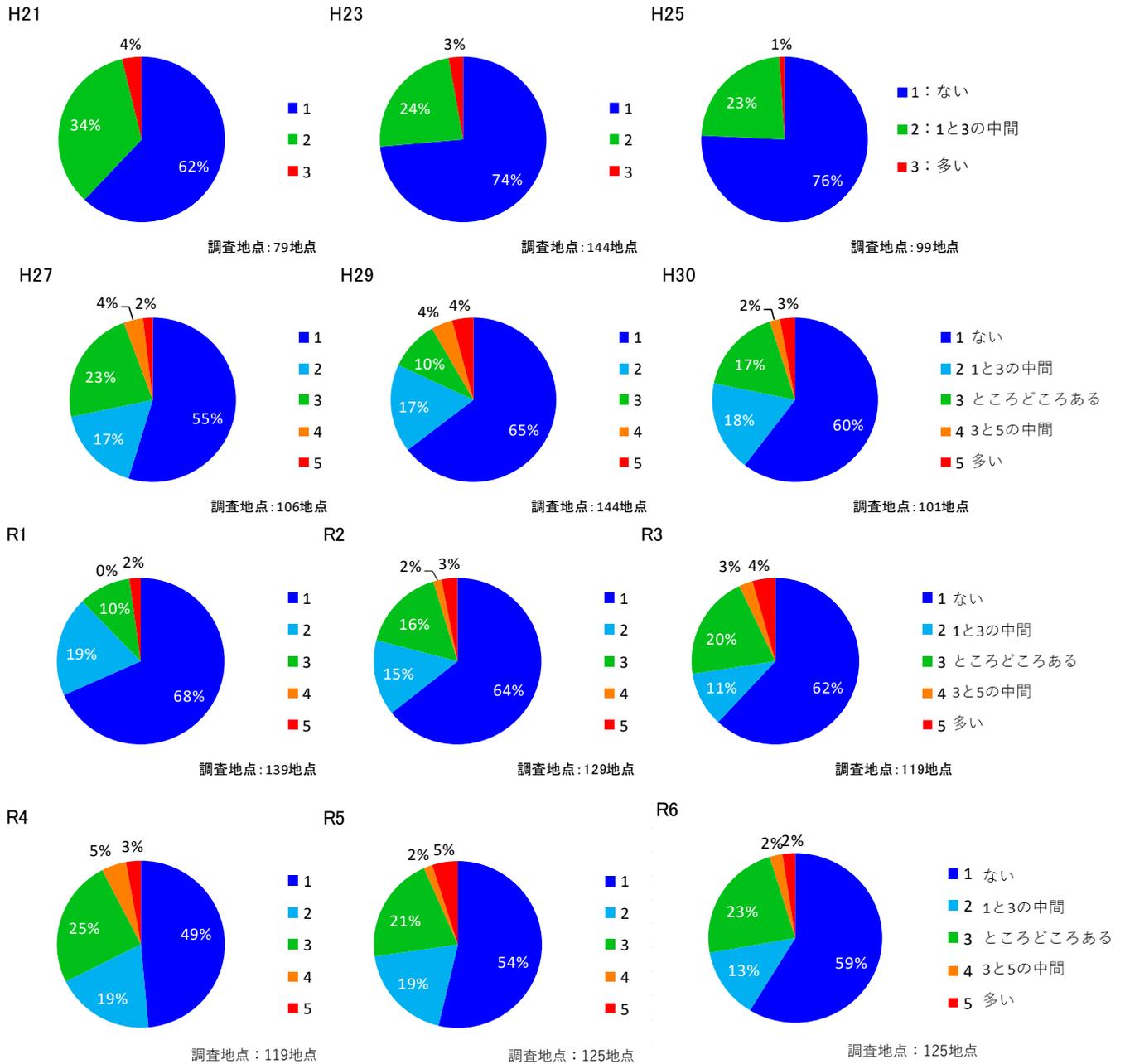


図 4.18 簡易水質テストにおけるアンケートによる「ごみ状況（水面）」の経年調査結果

※2009（H21）～2014（H26）は3段階評価、2015（H27）以降は5段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上100%となっていない場合があります。

(4) ごみ状況 (周辺)

2024 (R6) 年度は、2023 (R5) 年度と比較してごみがない状況 (1 青色) の割合が増加しました。

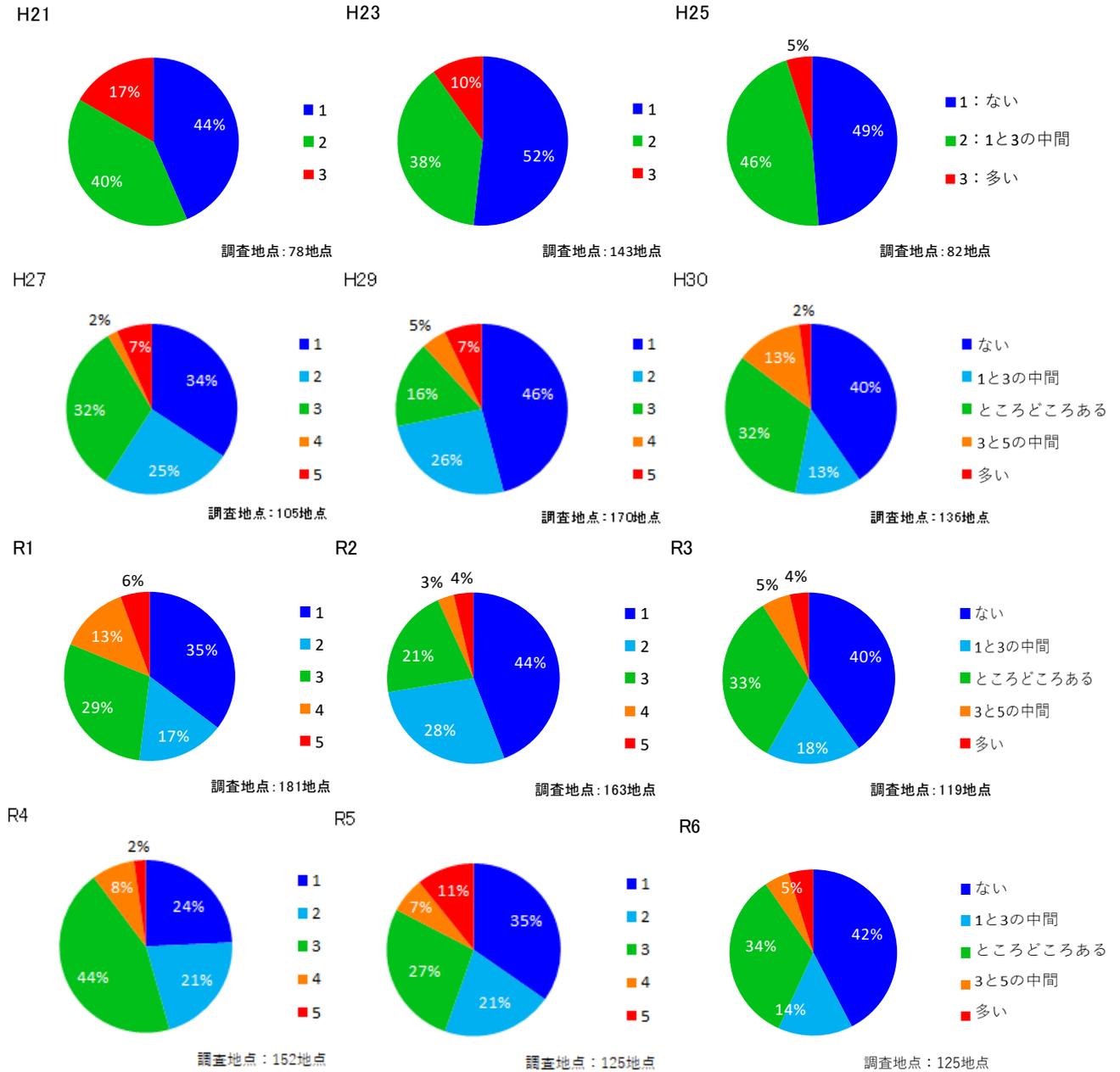


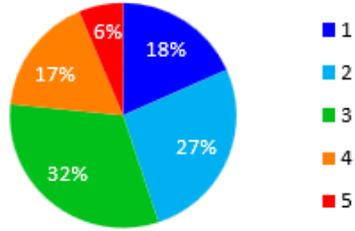
図 4.19 簡易水質テストにおけるアンケートによる「ごみ状況(周辺)」経年調査結果

※2009 (H21)～2014 (H26) は 3 段階評価、2015 (H27) 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(5) 生物

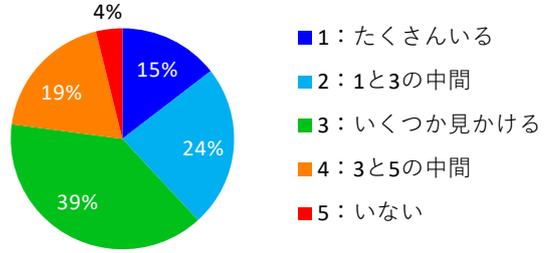
2024 (R6) 年度は、2023 (R5) 年度と比較して生物がたくさんいる (1 青色)、1 と 3 の中間 (2 水色) の割合が減少しました。

H29



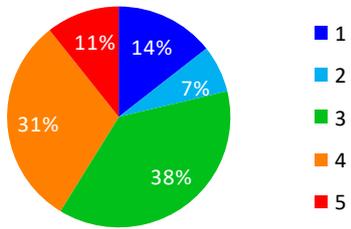
調査地点: 158地点

H30



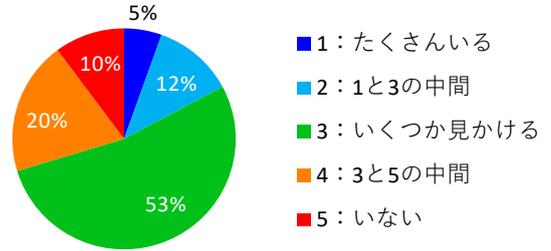
調査地点: 131地点

R1



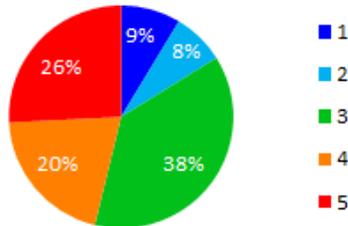
調査地点: 160地点

R2



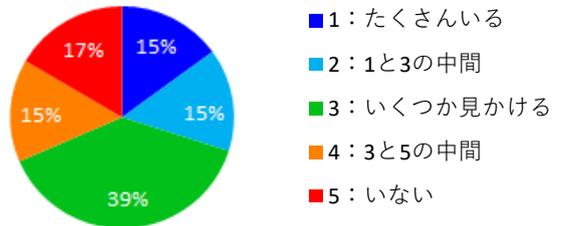
調査地点: 128地点

R3



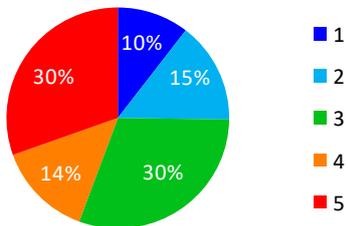
調査地点: 108地点

R4



調査地点: 149地点

R5



調査地点: 121地点

R6

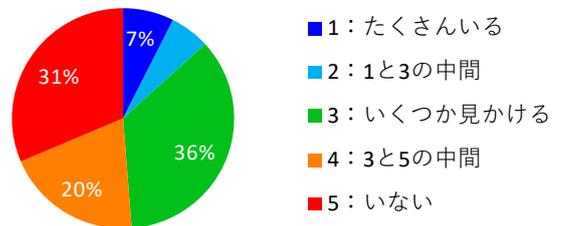


図 4.20 簡易水質テストにおけるアンケートによる「生物」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(6) 植物（周辺）

2024（R6）年度は、2023（R5）年度と比較して植物（周辺）に大きな変化はありませんでした。

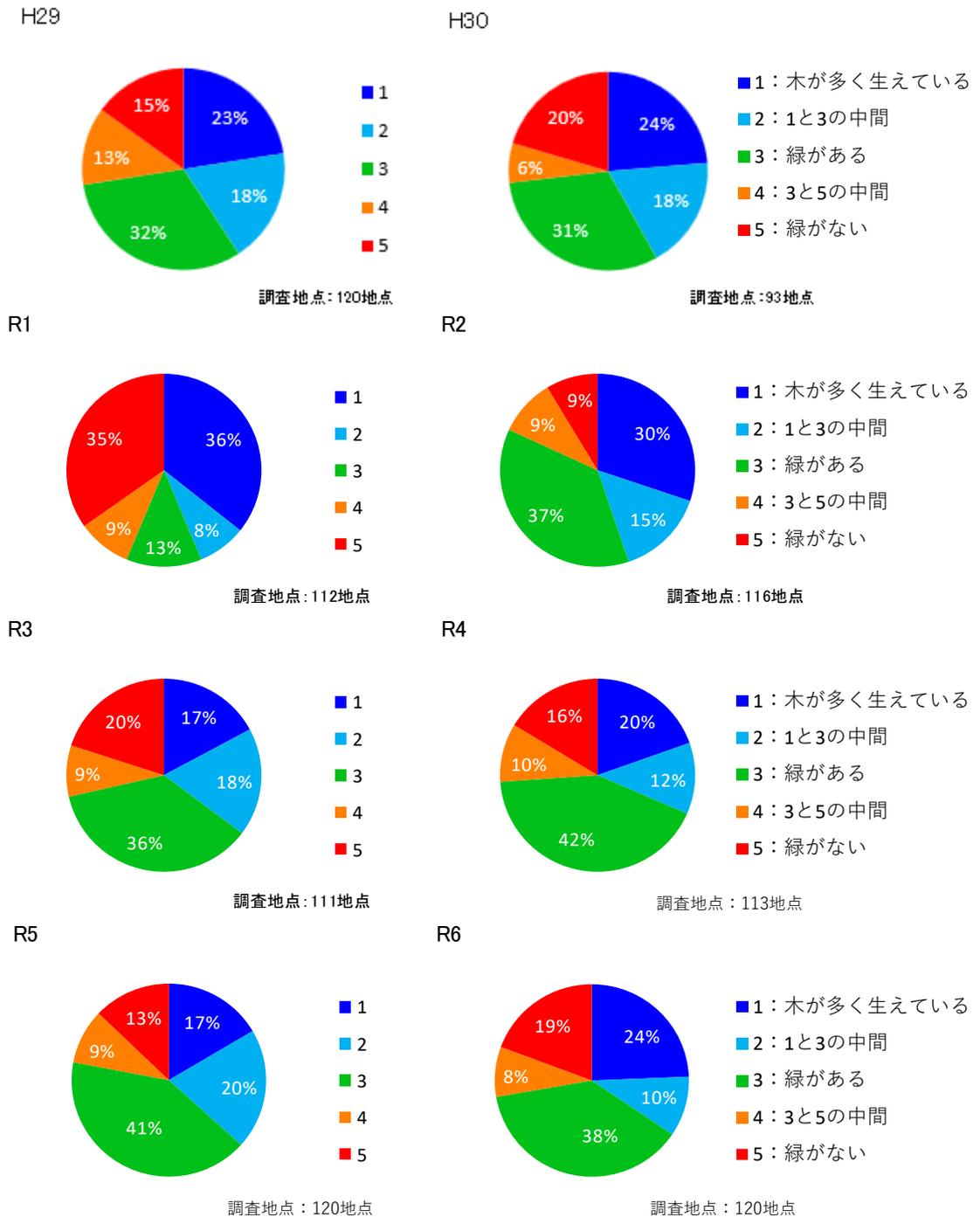


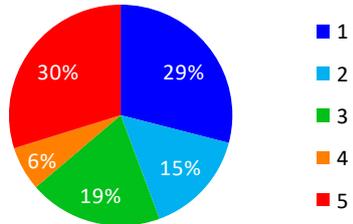
図 4.21 簡易水質テストにおけるアンケートによる「植物(周辺)」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(7) 植物（水際）

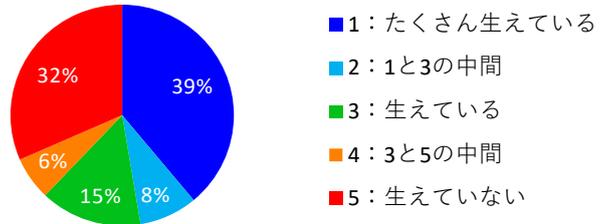
2024（R6）年度は、2023（R5）年度と比較して植物（水際）に大きな変化はありませんでした。

H29



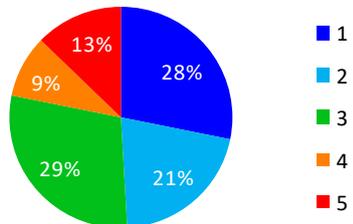
調査地点：124地点

H30



調査地点：95地点

R1



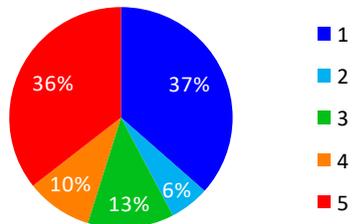
調査地点：110地点

R2



調査地点：116地点

R3



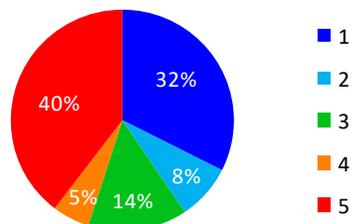
調査地点：111地点

R4



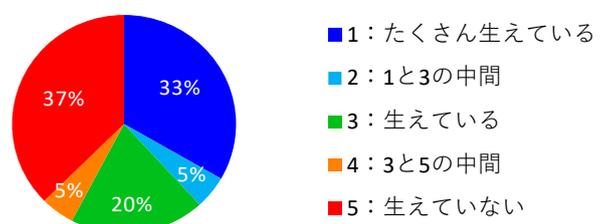
調査地点：115地点

R5



調査地点：121地点

R6



調査地点：121地点

図 4.22 簡易水質テストにおけるアンケートによる「植物（水際）」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(8) 水の色 の 2009 (H21) 、2020 (R2) ～2024 (R6) 年度の比較

2024 (R6) 年度は陸域では 2023 (R5) 年度と比較して無色の水の色 の回答数 (1 青色、2 水色の合計) の割合は減少しました。

また、海域については、2024 (R6) 年度は、2023 (R5) 年度と比較して、無色の水の色 の回答数 (1 青色、2 水色の合計) の割合は増加しました。

① 陸域の水の色

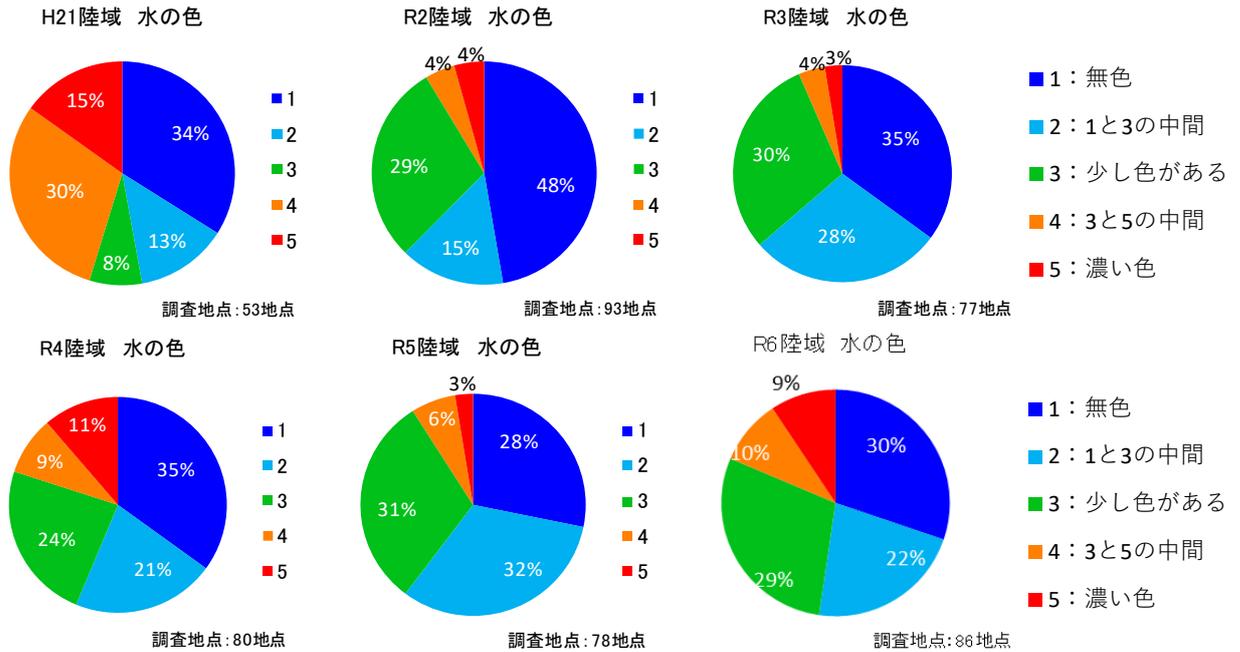


図 4.23 簡易水質テストにおけるアンケートによる「陸域の水の色」の経年調査結果

② 海域の水の色

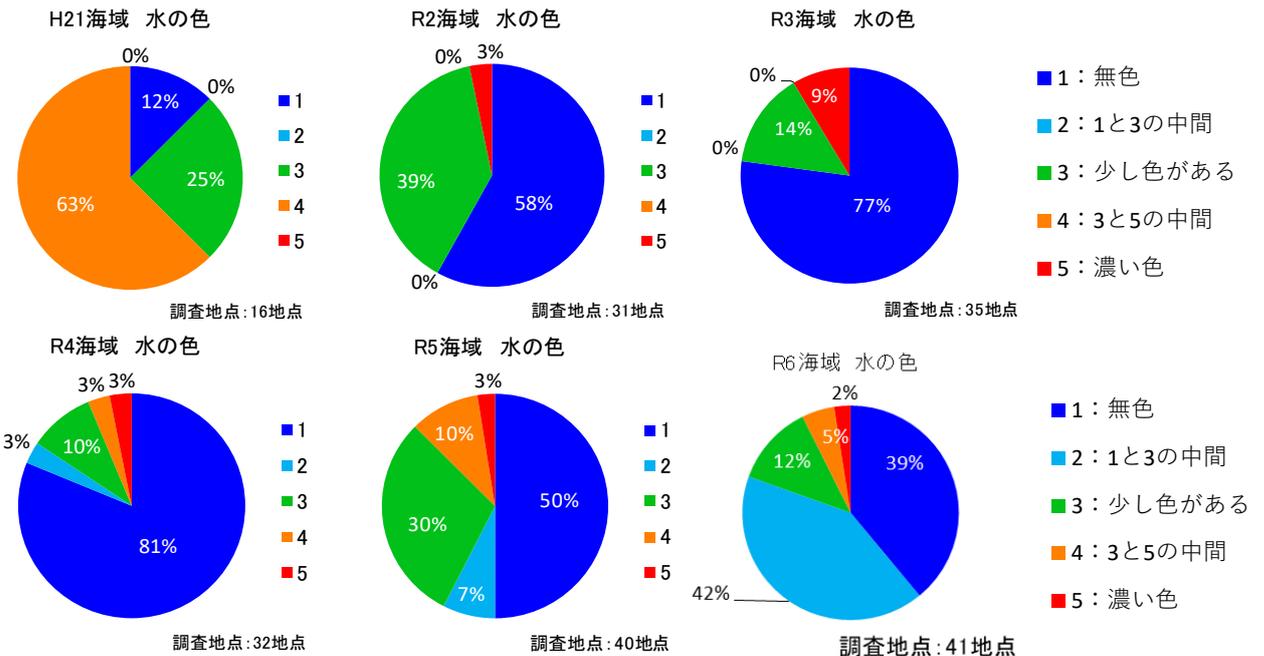


図 4.24 簡易水質テストにおけるアンケートによる「海域の水の色」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

③ 流域全体（陸域と海域）の水の色の割合の変化

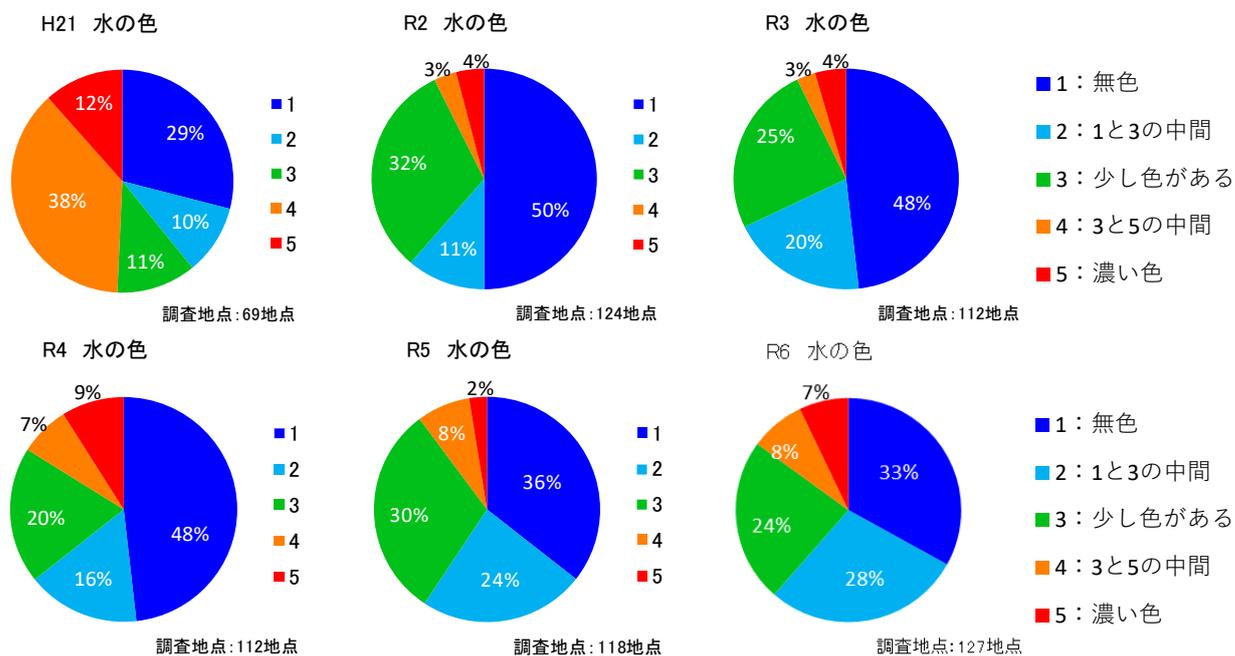


図 4.25 簡易水質テストにおけるアンケートによる流域全体(陸域と海域)の「水の色」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(9) 水際のごみの 2009 (H21) 、2020 (R2) ~2024 (R6) 年度の比較

2024 (R6) 年度は、2023 (R5) 年度と比較して陸域の水際でごみがないの回答 (1 青色) の割合が増加しました。また、海域については、2024 (R6) 年度は、2023 (R5) 年度と比較して、水際でごみがないの回答 (1 青色) の割合に変化はありませんでした。

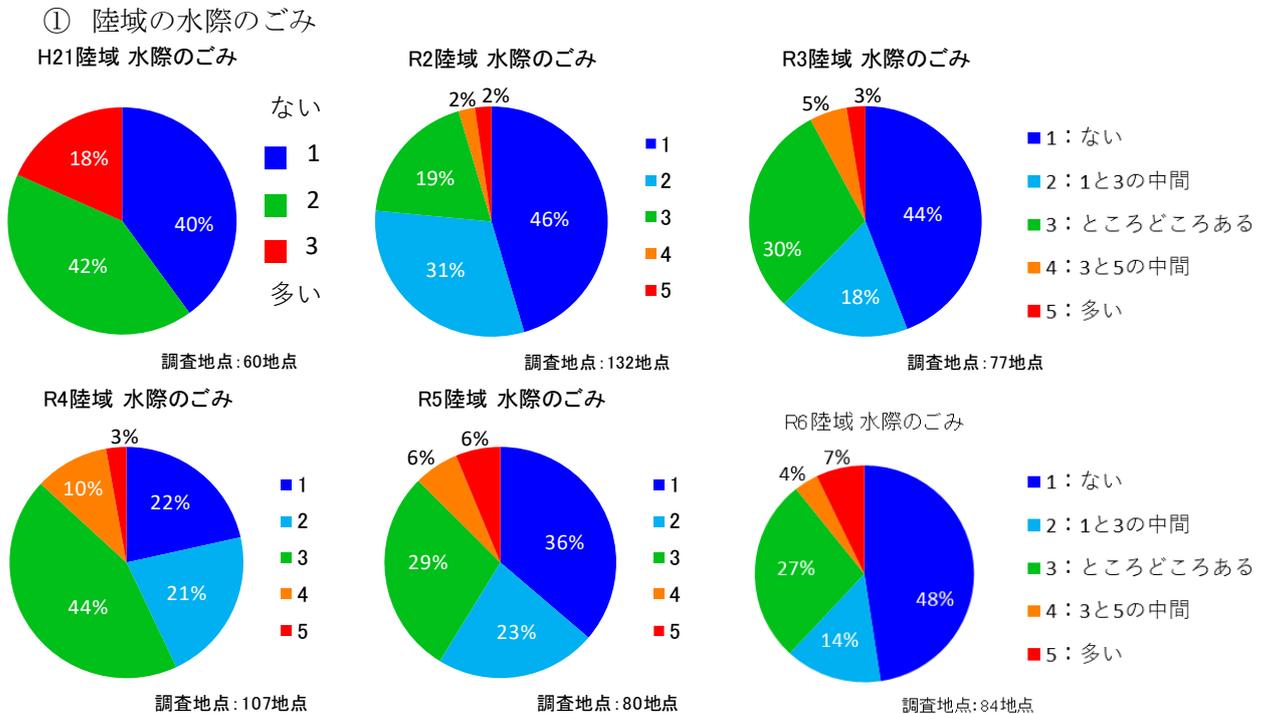


図 4.26 簡易水質テストにおけるアンケートによる「陸域の水の色」の経年調査結果

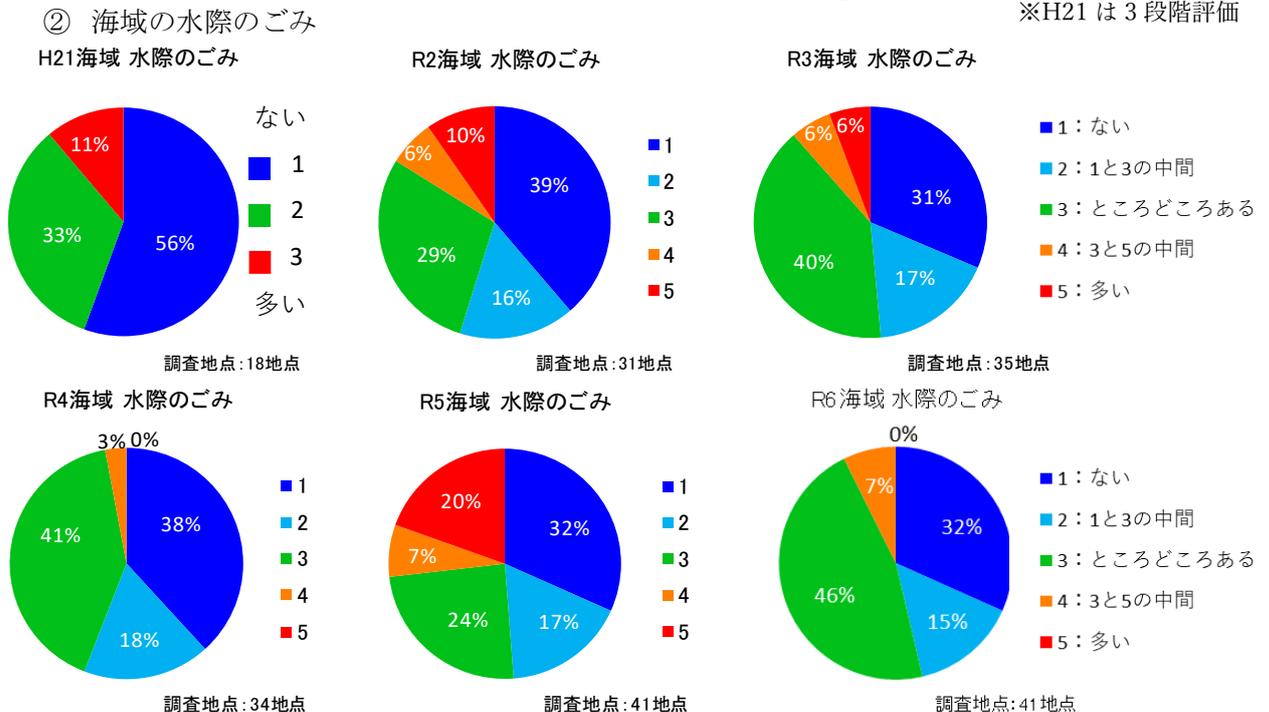


図 4.27 簡易水質テストにおけるアンケートによる「海域の水の色」の経年調査結果

※H21 は 3 段階評価
※2009 (H21) は 3 段階評価
※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

③ 流域全体の水際のごみの割合の変化

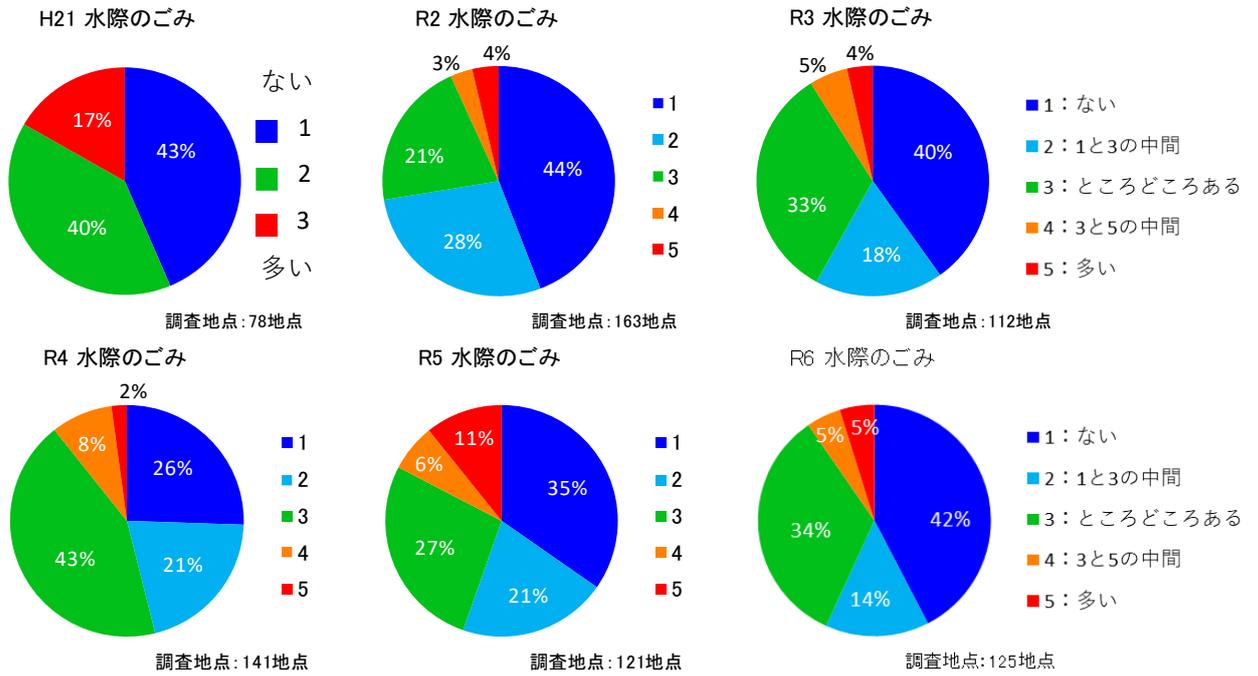


図 4.28 簡易水質テストにおけるアンケートによる流域全体(陸域と海域)の「水の色」の経年調査結果
 ※2009(H21)は3段階評価

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(10) 2020 (R2) 年度～2024 (R6) 年度の見た目の水のきれいさと COD の関係

見た目の水きれいさと COD の値には相関があると考えられます。

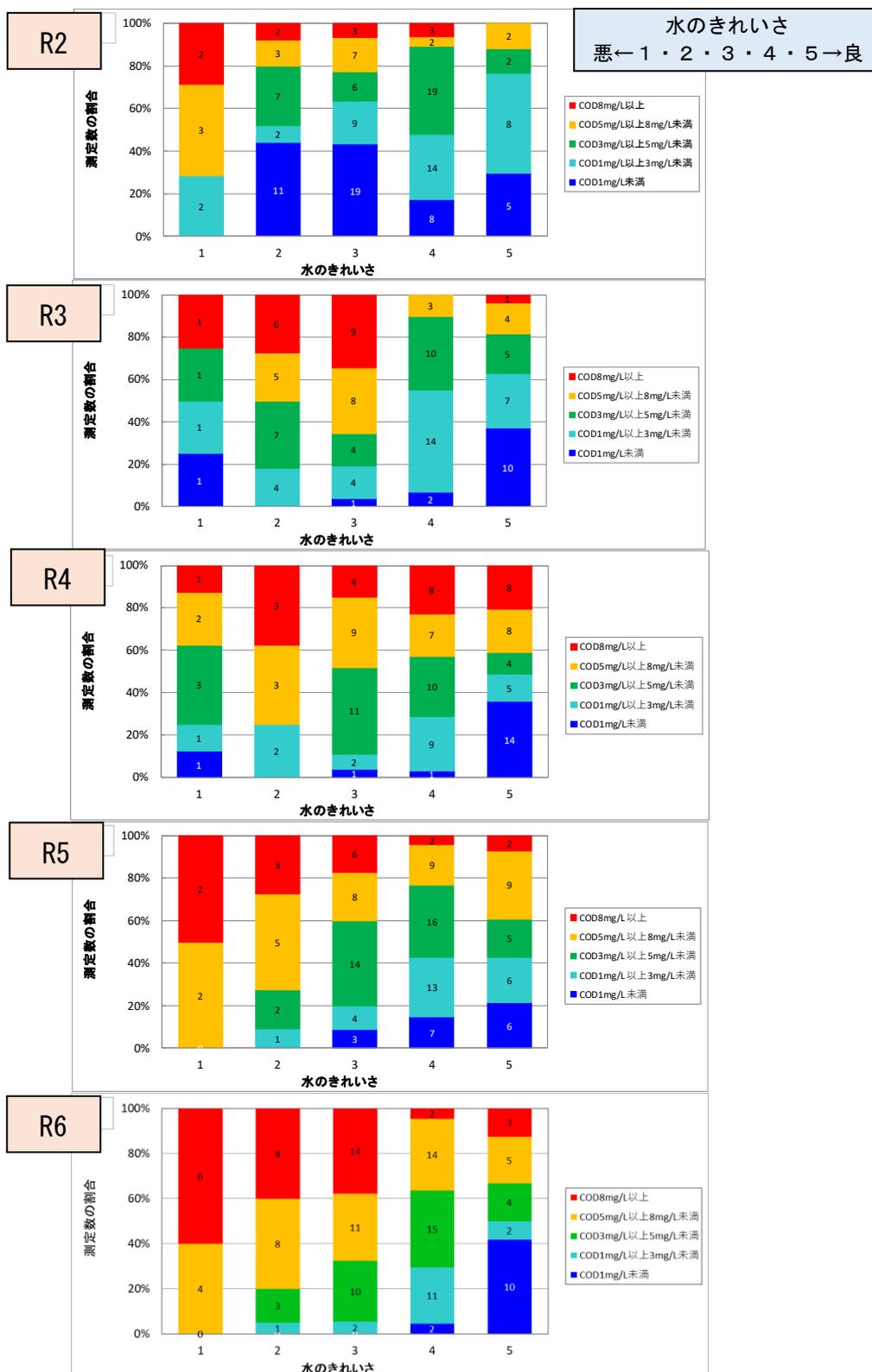


図 4-29 アンケート結果(水のきれいさと COD の関係)

5. 参考資料 1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間気象・海象状況

伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間（2024（R6）年7月1日～8月31日）の図5.1に示す観測所の気象・海象状況を図5.4、図5.5に示します。

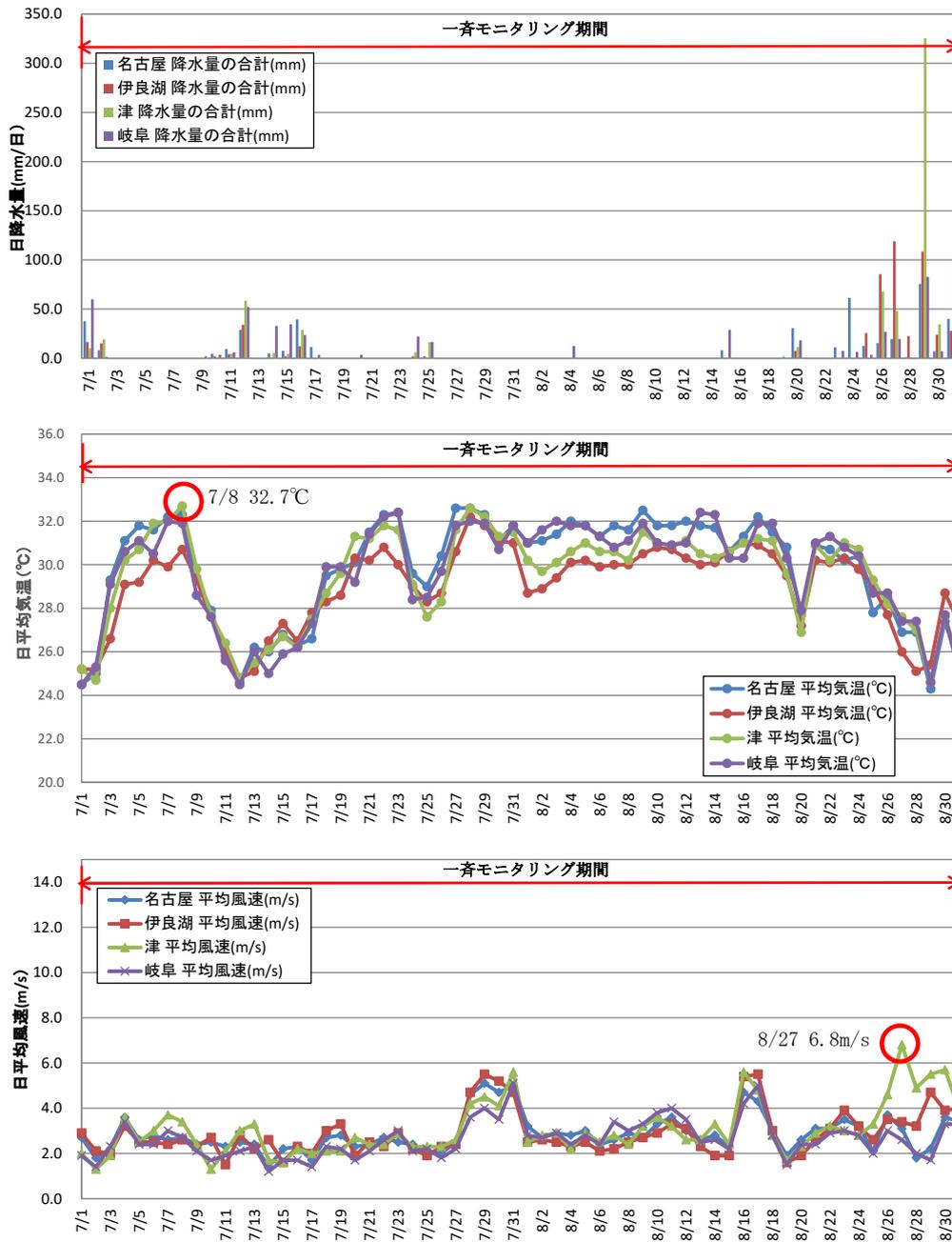
伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中、8月下旬に局所的な大雨を記録しています。

伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中の平均気温は29.5℃で、最高気温は、7月8日に津で観測された32.7℃でした。

日平均風速は、8月の変動が大きくなっています。最大の平均風速は、8月27日に津で観測された6.8m/sでした。



図 5.1 気象・海象観測位置(赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置)

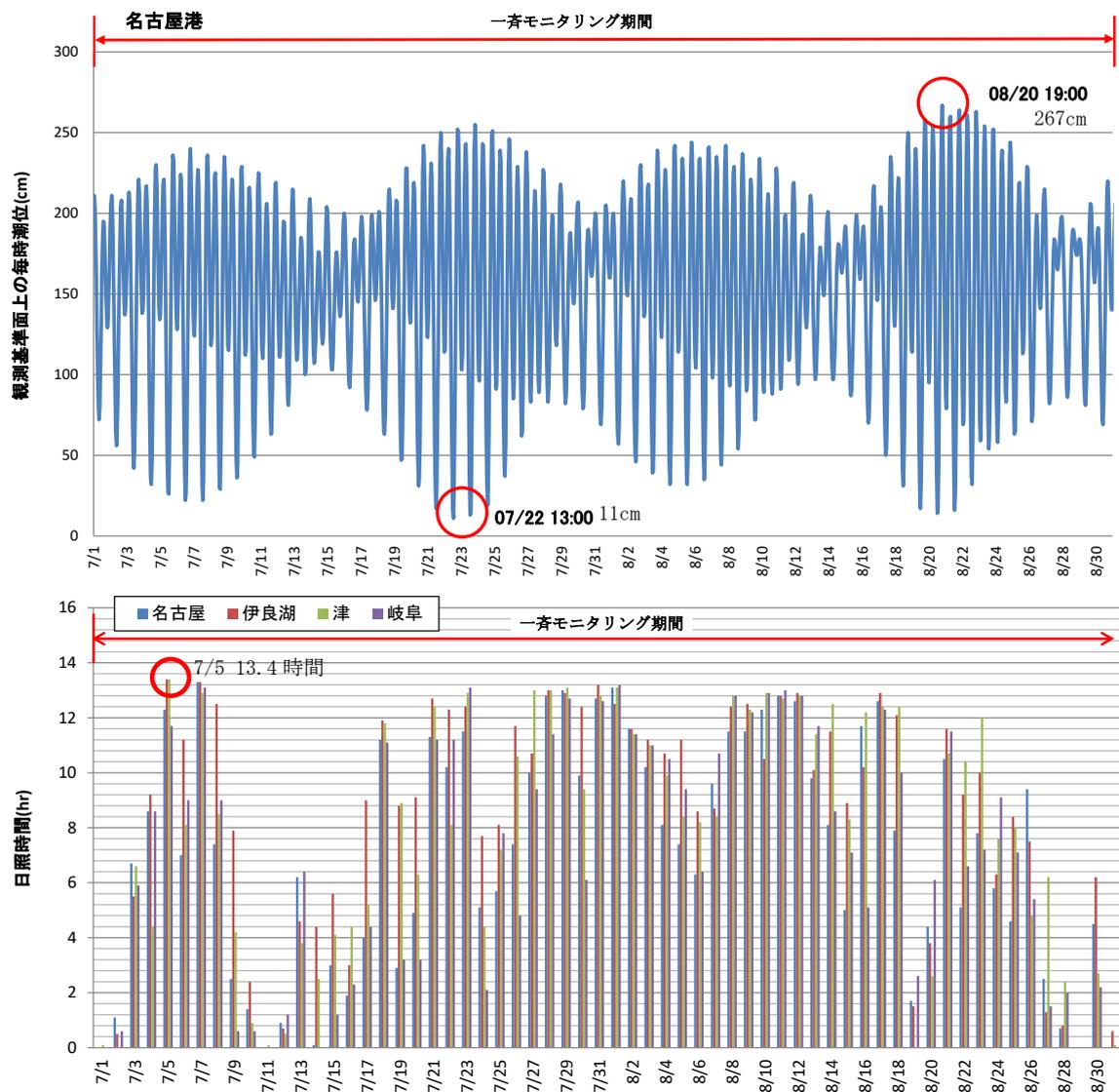


気象庁のデータから作成

図 5.2 2024 (R6) 年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況①
(降水量・気温・風速)

日照時間の平均は7.7時間程度でした。日照時間の最長は、7月5日の伊良湖と津で13.4時間でした。

名古屋港の観測潮位について、7月～8月の最低潮位は7月22日13時に11cm、最高潮位は、8月20日19時に267cmとなっています。



気象庁のデータから作成

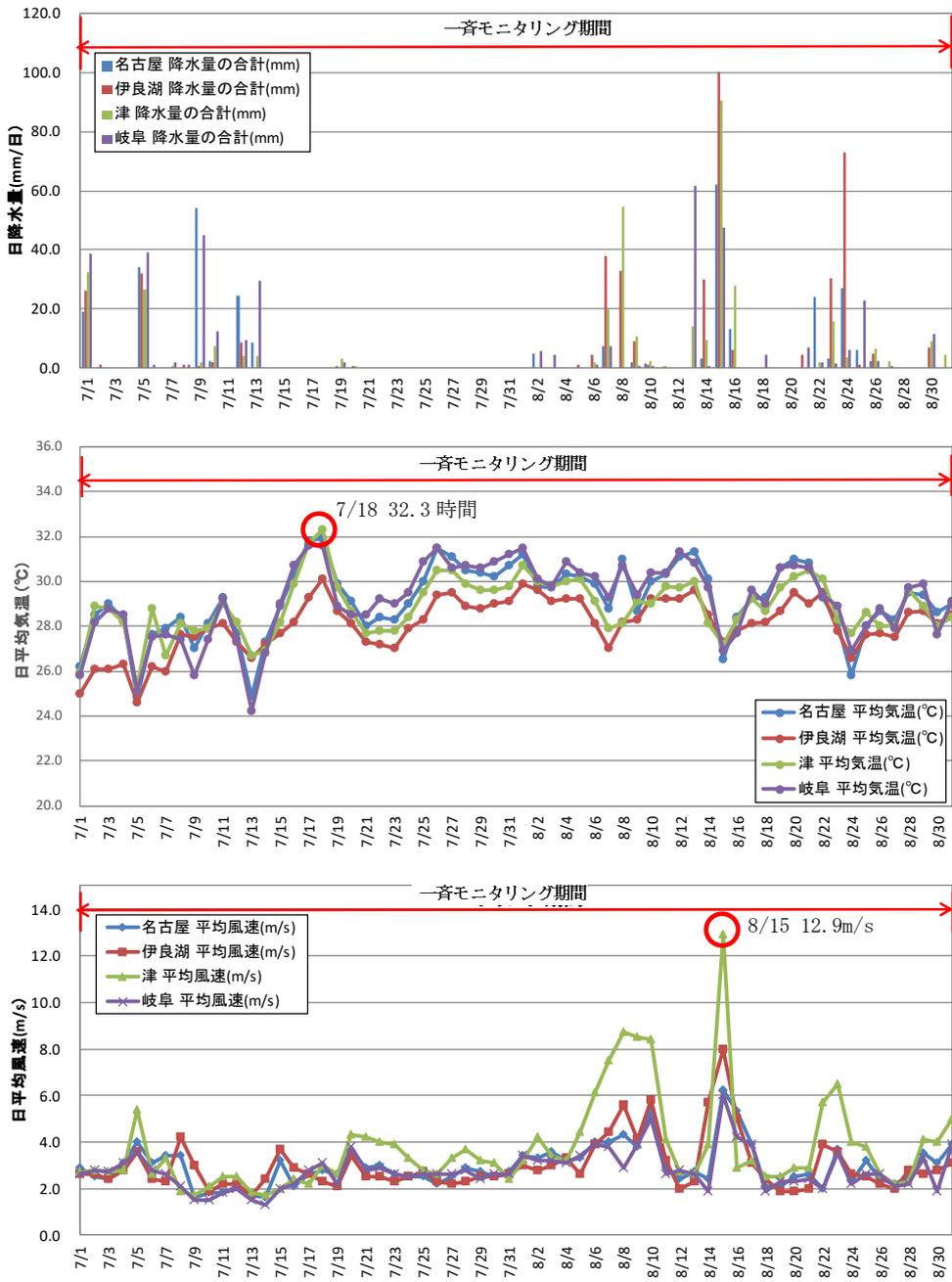
図 5.3 2024 (R6) 年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況②
(降水量・気温・風速)

【参考】2023（R5）年度の気象状況

2023（R5）年度の伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中、7月中の雨が少なかったため、伊勢湾流域圏一斉モニタリングの水質等に影響した可能性があります。また、8月中旬に局所的な大雨を記録しています。

伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中の平均気温は28.8℃で、最高は7/18の津で32.3℃でした。

日平均風速は、8月の変動が大きくなっています。最大の平均風速は、8/15の津で12.9m/sでした。

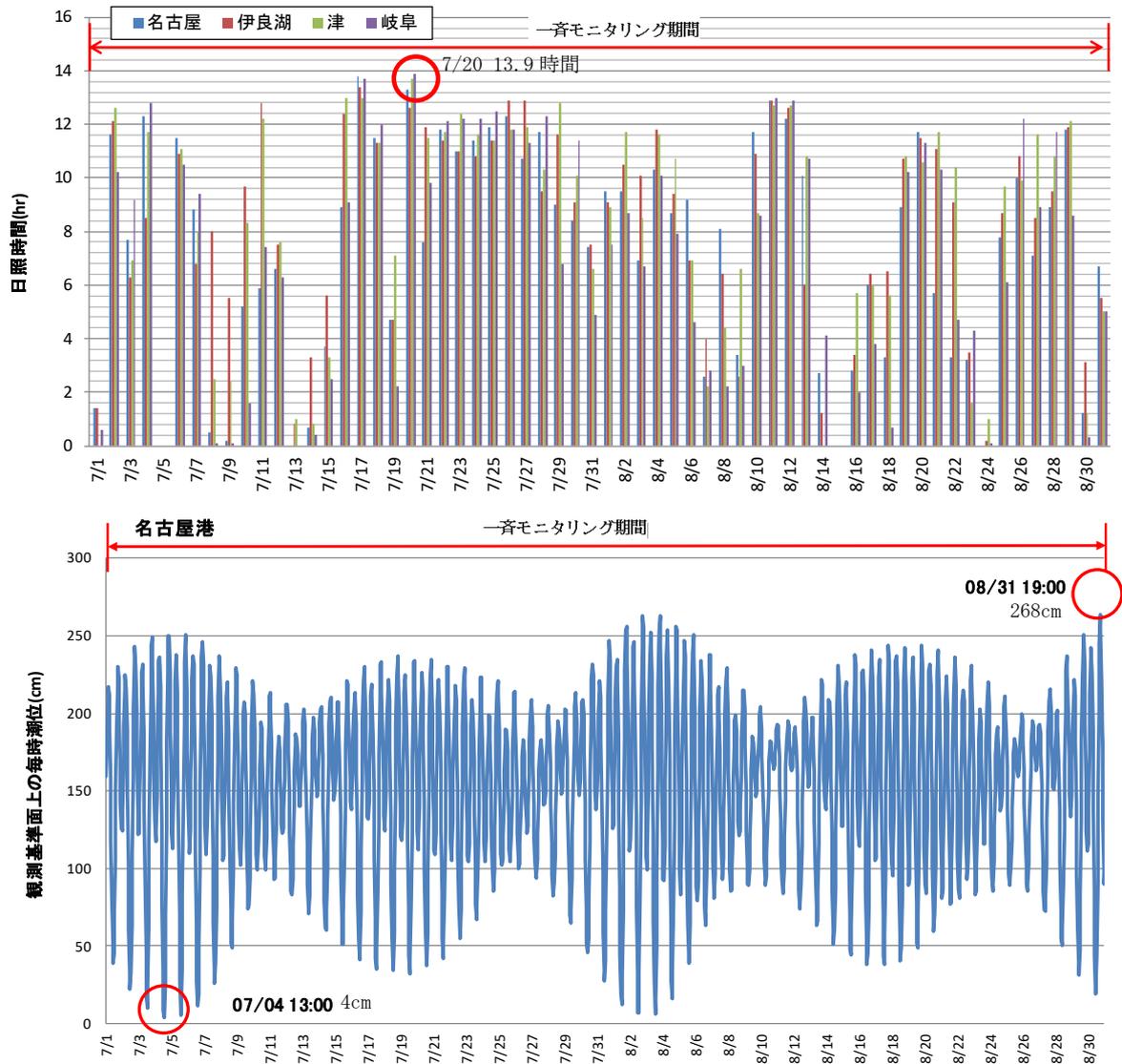


気象庁のデータから作成

図 5.4 2023（R5）年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況①
(降水量・気温・風速)

日照時間の平均は 7.7 時間程度でした。日照時間の最長は、7 月 20 日の岐阜で 13.9 時間でした。

名古屋港の観測潮位について、7 月～8 月の最低潮位は 7 月 4 日 13 時に 4cm、最高潮位は、8 月 31 日 19 時に 268cm となっています。

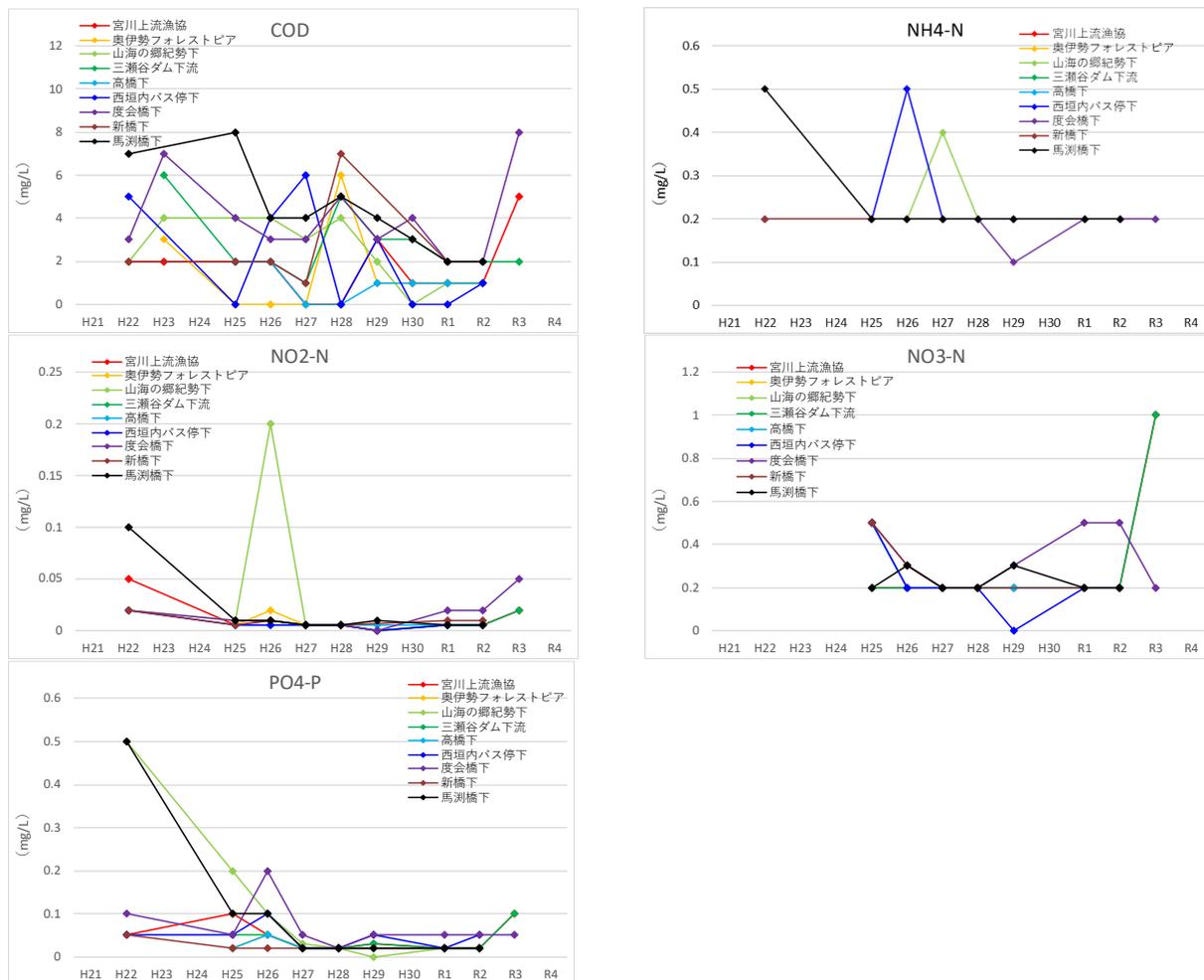


気象庁のデータから作成

図 5.5 2023(R5)年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況②(日照時間・潮位)

6. 参考資料 2 定点的なモニタリングの結果

地点により値の大小はありますが、定点的なモニタリングにより身近な河川や海辺等で経年的に水質調査を行い、水質の変動を観測していくことが大切だと考えられます。



※2022 (R4) ~2024 (R6) 年度は未実施

図 6.1 伊勢市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

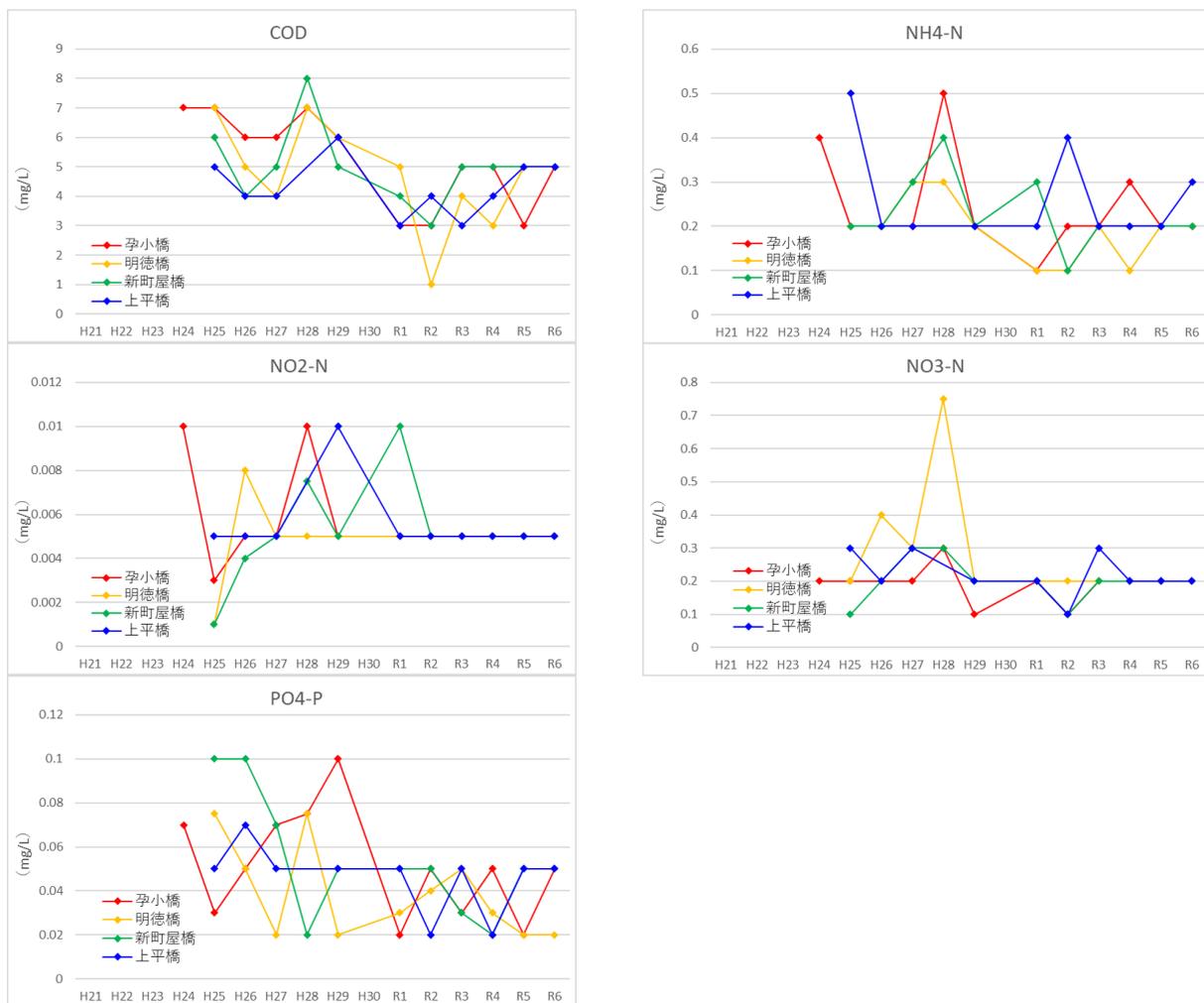


図 6.2 瑞浪市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

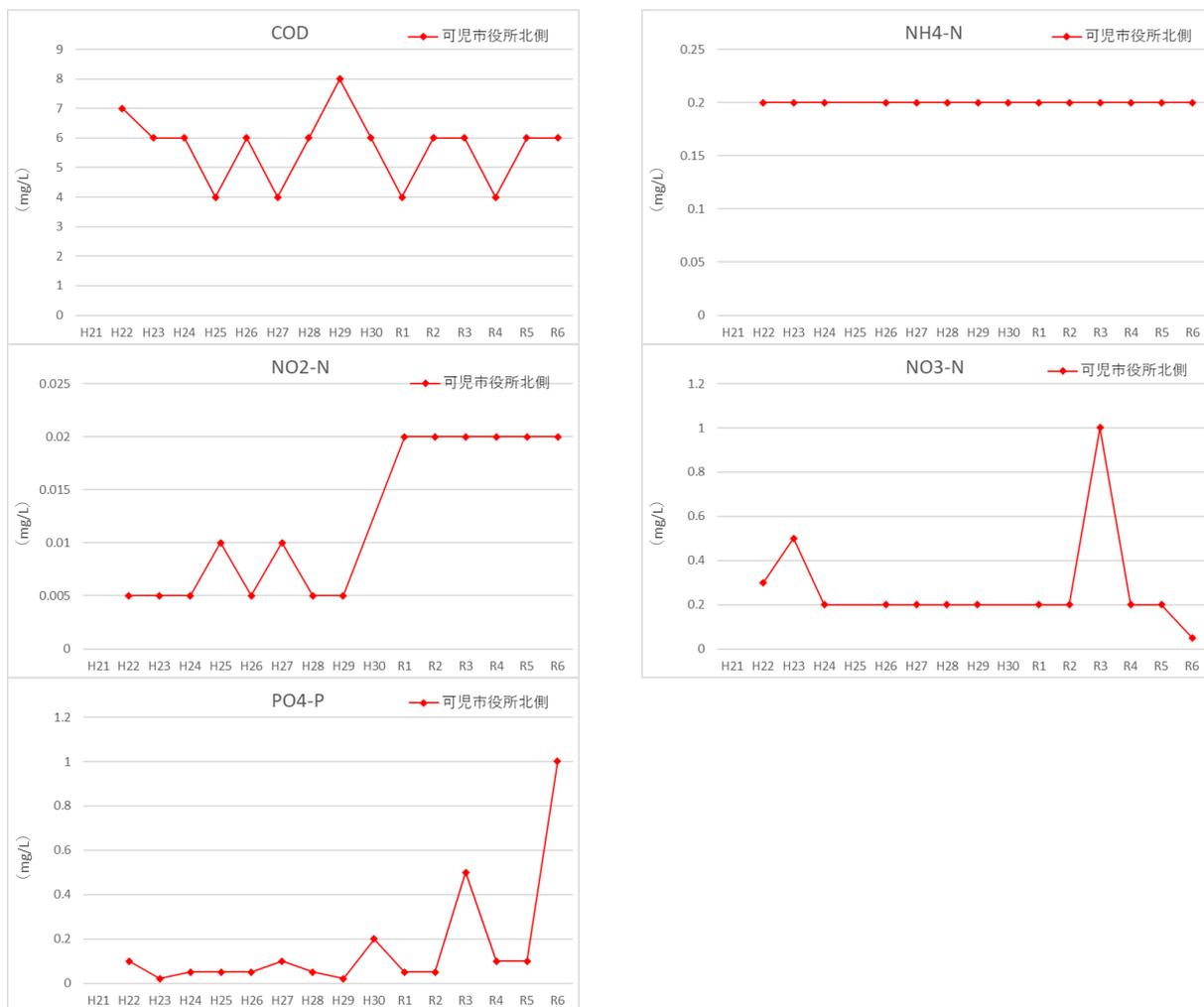


図 6.3 可児市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

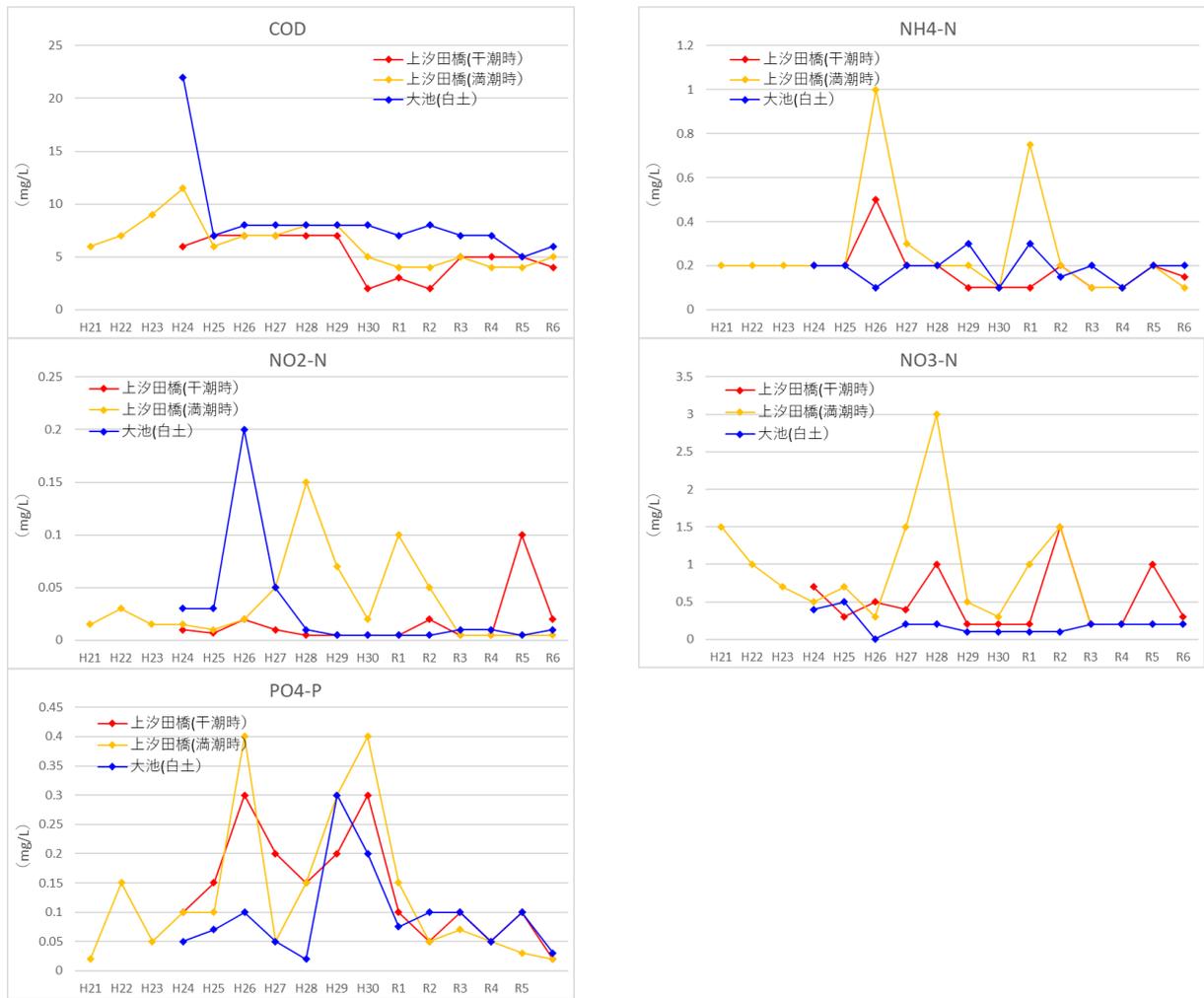


図 6.4 名古屋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化



図 6.5 名古屋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

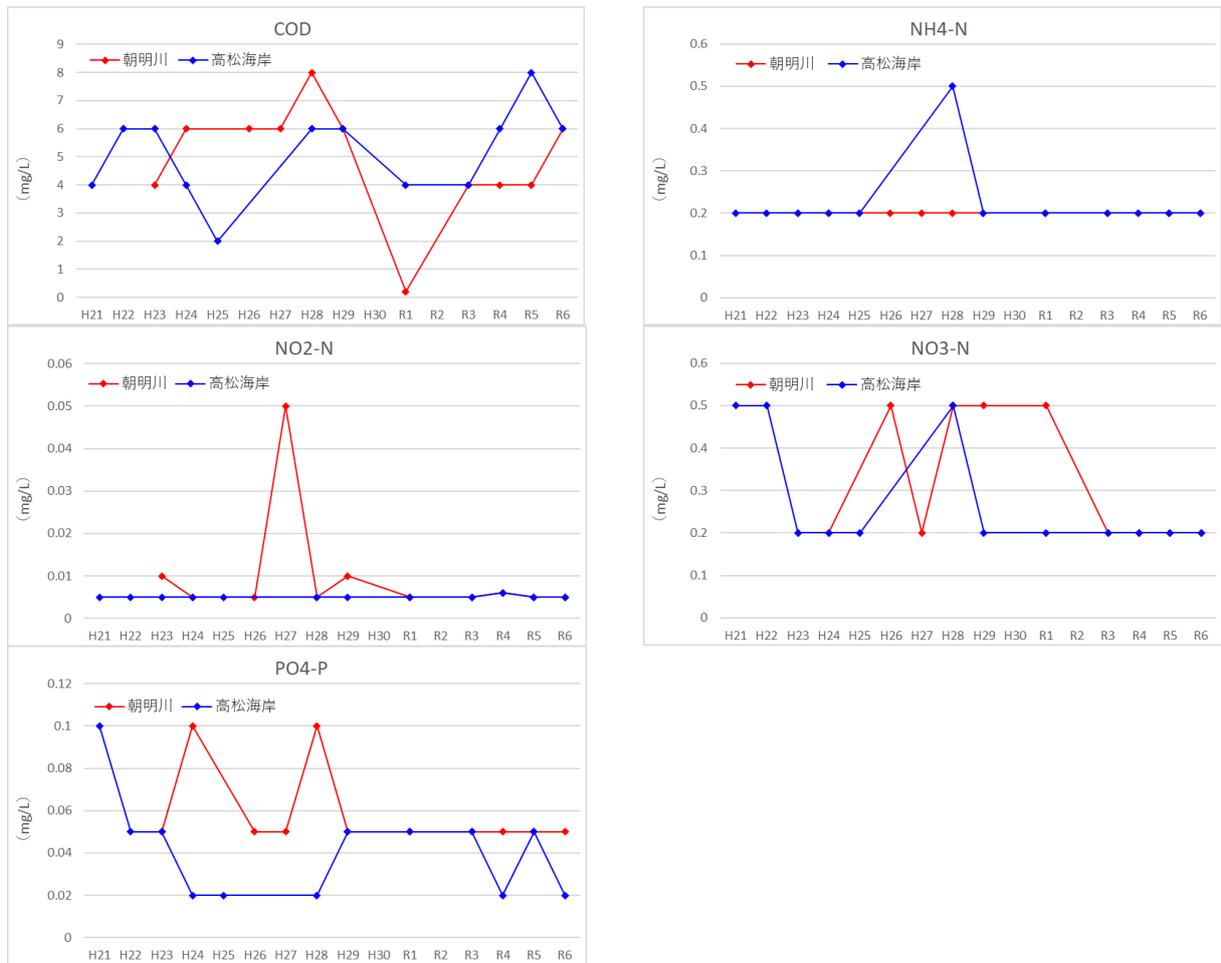
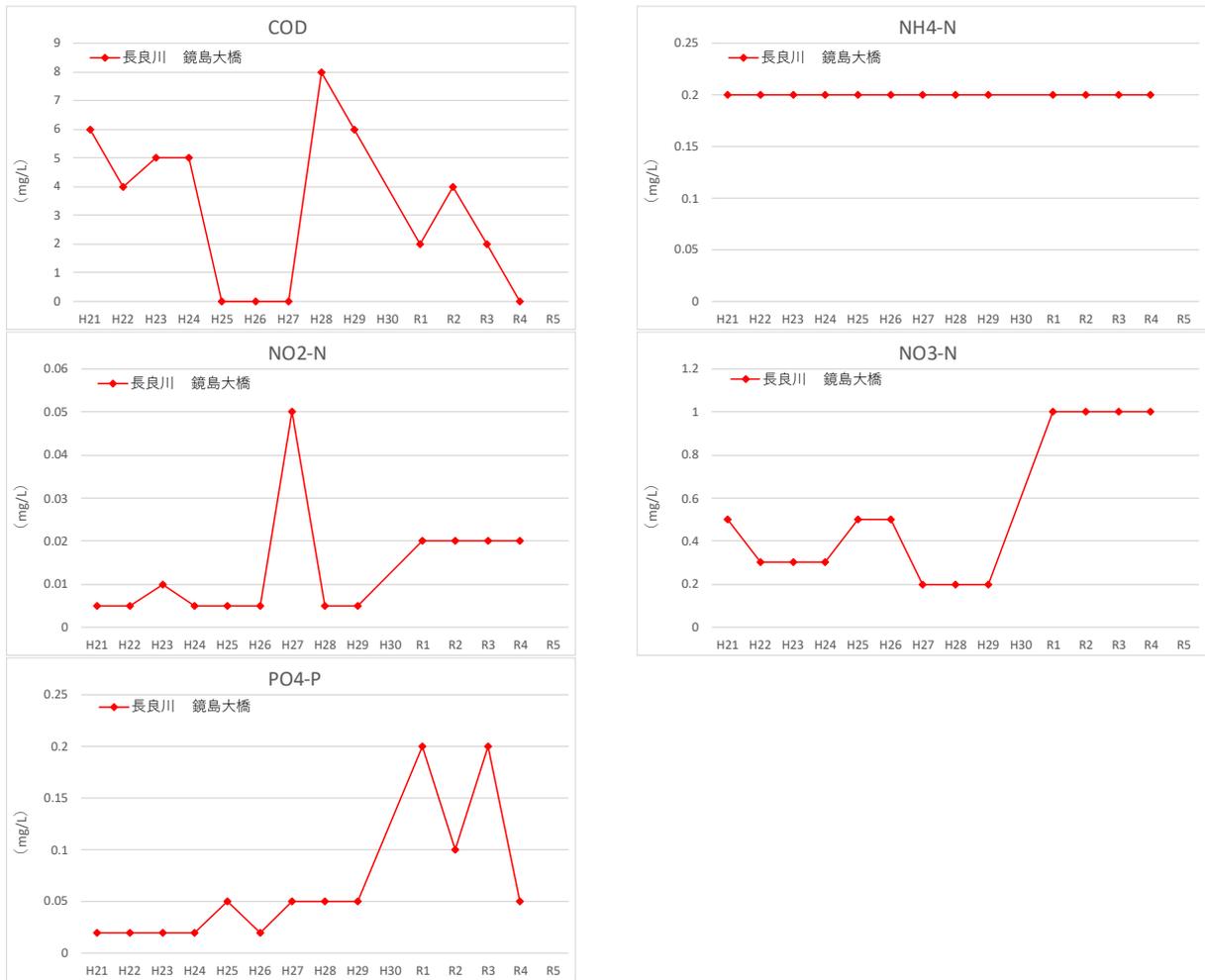


図 6.6 三重郡川越町周辺の定点における水質調査結果の経年変化



※2025 (R5) ~2024 (R6) 年度は未実施

図 6.7 岐阜市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

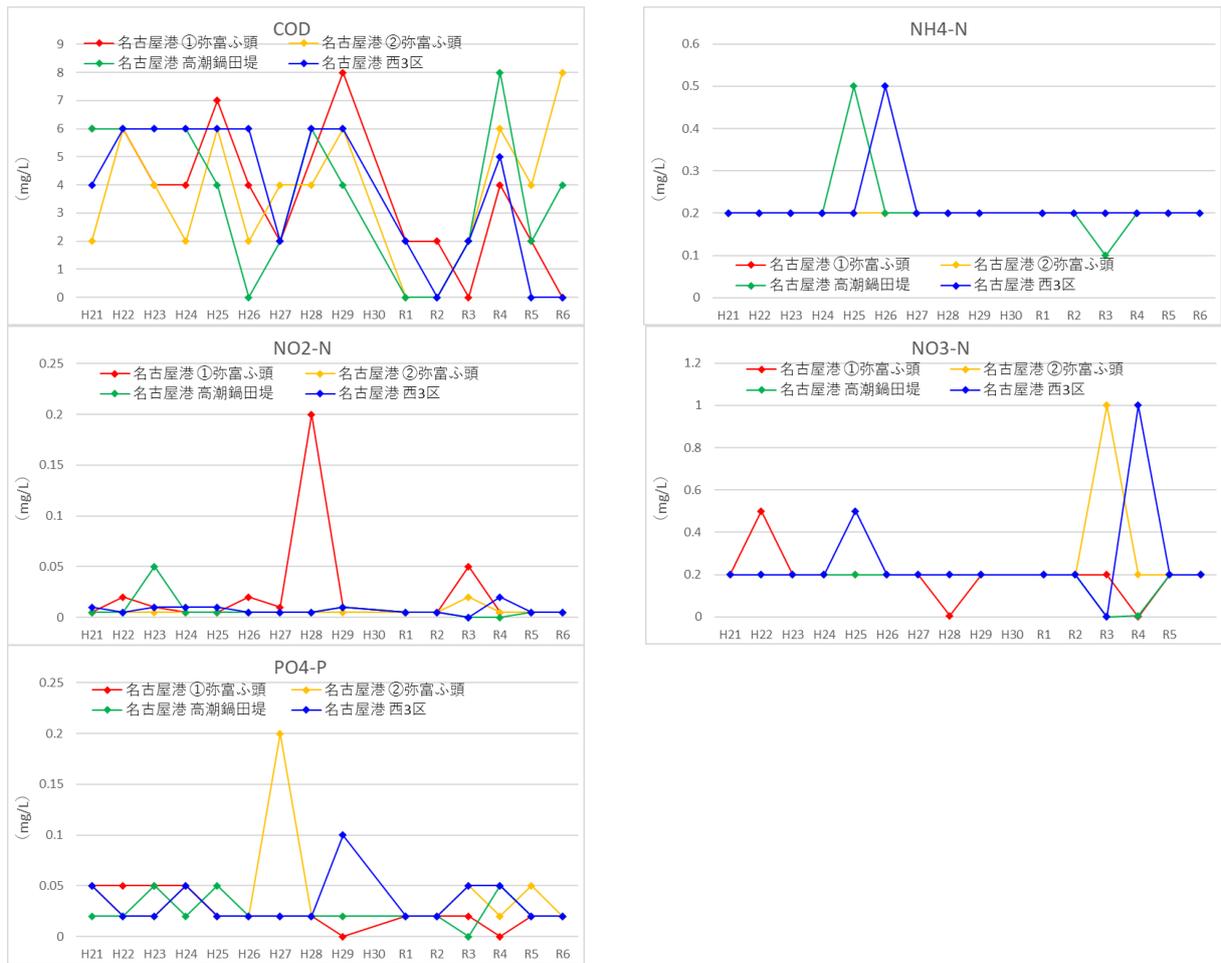


図 6.8 弥富市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

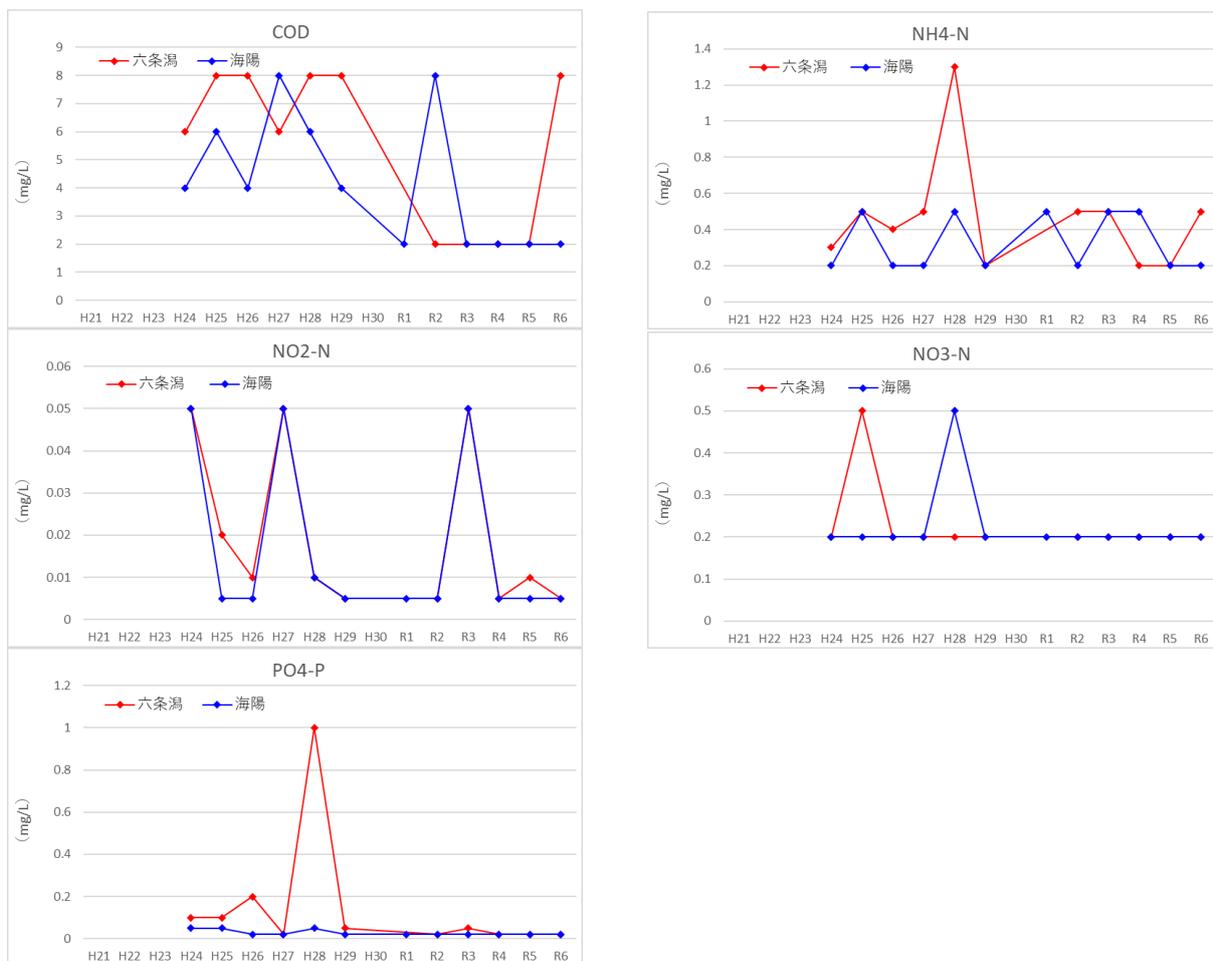


図 6.9 豊橋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化